# ROG STRIX Z370-I GAMING



J13601 改訂版 V2 2017年11月

#### Copyright © 2017 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイル を制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。購入者によるバックアップ目的の場合を除き、ASUSTeK Computer Inc. (以下、ASUS)の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる 方法によっても複製することが禁じられます。

以下に該当する場合は、製品保証サービスを受けることができません。

- (1) 製品に対しASUSの書面により認定された以外の修理、改造、改変が行われた場合
- (2) 製品のシリアル番号の確認ができない場合

本書は情報提供のみを目的としています。本書の情報の完全性および正確性については最善の努力が払われ ていますが、本書の内容は「現状のまま」で提供されるものであり、ASUSは明示または黙示を問わず、本書 においていかなる保証も行いません。ASUS、その提携会社、従業員、取締役、役員、代理店、ベンダーま たはサプライヤーは、本製品の使用または使用不能から生じた付随的な損害(データの変化・消失、事業利 益の損失、事業の中断など)に対して、たとえASUSがその損害の可能性について知らされていた場合も、 一切責任を負いません。

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本書では説明の便宜のためにその 会社名、製品名などを記載する場合がありますが、それらの商標権の侵害を行う意思、目的はありません。

#### Offer to Provide Source Code of Certain Software

This product contains copyrighted software that is licensed under the General Public License ("GPL"), under the Lesser General Public License Version ("LGPL") and/or other Free Open Source Software Licenses. Such software in this product is distributed without any warranty to the extent permitted by the applicable law. Copies of these licenses are included in this product.

Where the applicable license entitles you to the source code of such software and/or other additional data, you may obtain it for a period of three years after our last shipment of the product, either

(1) for free by downloading it from https://www.asus.com/support/

or

(2) for the cost of reproduction and shipment, which is dependent on the preferred carrier and the location where you want to have it shipped to, by sending a request to:

ASUSTeK Computer Inc. Legal Compliance Dept.

15 Li Te Rd.

Beitou, Taipei 112

Taiwan

In your request please provide the name, model number and version, as stated in the About Box of the product for which you wish to obtain the corresponding source code and your contact details so that we can coordinate the terms and cost of shipment with you.

The source code will be distributed WITHOUT ANY WARRANTY and licensed under the same license as the corresponding binary/object code.

This offer is valid to anyone in receipt of this information.

ASUSTeK is eager to duly provide complete source code as required under various Free Open Source Software licenses. If however you encounter any problems in obtaining the full corresponding source code we would be much obliged if you give us a notification to the email address **gpl@asus.com**, stating the product and describing the problem (please DO NOT send large attachments such as source code archives, etc. to this email address).

# もくじ

安全上のご注意	vi
このマニュアルについて	vii
ROG STRIX Z370-I GAMING 仕様一覧	ix
パッケージの内容	xiii
取り付け工具とコンポーネント	xiv

Chapter 1 製品の概要

1.1	マザーボ-	-ドの概要	1-1
	1.1.1	始める前に	1-1
	1.1.2	マザーボードのレイアウト	1-2
	1.1.3	プロセッサー	1-4
	1.1.4	システムメモリー	1-5
	1.1.5	拡張スロット	1-7
	1.1.6	ジャンパー	1-8
	1.1.7	オンボードLED	1-10
	1.1.8	内部コネクター/ヘッダー	1-11

### Chapter 2 基本的な取り付け

2.1	コンピュー	·ターを組み立てる	2-1
	2.1.1	マザーボードを取り付ける	2-1
	2.1.2	CPUを取り付ける	2-3
	2.1.3	CPUクーラーを取り付ける	2-5
	2.1.4	メモリーを取り付ける	2-7
	2.1.5	ATX 電源を取り付ける	2-8
	2.1.6	SATA デバイスを取り付ける	2-9
	2.1.7	フロント 1/0 コネクターを取り付ける	.2-10
	2.1.8	拡張カードを取り付ける	.2-11
	2.1.9	M.2 SSD を取り付ける	.2-12
	2.1.10	付属のアンテナを取り付ける	.2-13
2.2	バックパネ	・ルとオーディオ接続	2-14
	2.2.1	バックパネルコネクター	.2-14
	2.2.2	オーディオ I/O接続	.2-16
2.3	初めて起重	かする	2-18
2.4	システムの	)電源をオフにする	2-18

Chapte	er 3	UEFI BIOS設定	
3.1	UEFIとは.		3-1
3.2	UEFI BIOS	S Utility	3-2
	3.2.1	EZ Mode	3-3
	3.2.2	Advanced Mode	3-4
	3.2.3	Q-Fan Control	3-7
	3.2.4	EZ Tuning Wizard	3-9
3.3	My Favor	'ites	3-12
3.4	Main		3-14
3.5	Ai Tweak	er	3-14
3.6	Advance	d	3-16
	3.6.1	Platform Misc Configuration	3-16
	3.6.2	CPU Configuration	3-16
	3.6.3	System Agent (SA) Configuration	3-17
	3.6.4	PCH Configuration	3-17
	3.6.5	PCH Storage Configuration	3-17
	3.6.6	Onboard Devices Configuration	3-18
	3.6.7	APM Configuration	3-19
	3.6.8	Network Stack Configuration	3-19
	3.6.9	HDD/SSD SMART Information	3-19
	3.6.10	USB Configuration	3-19
3.7	Monitor.		3-20
3.8	Boot		3-20
3.9	Tool		3-22
	3.9.1	ASUS EZ Flash 3 Utility	3-22
	3.9.2	Secure Erase	3-22
	3.9.3	ASUS Overclocking Profile	3-24
	3.9.4	ASUS SPD Information	3-24
	3.9.5	Graphics Card Information	3-24
3.10	Exit		3-25
3.11	UEFI BIO	Sの更新	3-25
	3.11.1	EZ Update	3-25
	3.11.2	ASUS EZ Flash 3 Utility	3-26
	3.11.3	ASUS CrashFree BIOS 3	3-28

#### Chapter 4 RAID 4.1 4.1.1 ストレージデバイスを取り付ける......4-2 4.1.2 4.1.3 UEFI BIOS Utility トでRAIDの設定をする.......4-2 Intel® Rapid Storage Technology Option ROM ユーティリティ......4-6 4.1.4 RAIDドライバーをインストールする.......4-10 4.2 4.2.1 **Chapter 5** 付録

### 安全上のご注意 電気の取り扱い

- 本製品、周辺機器、ケーブルなどの取り付けや取り外しを行う際は、必ずコンピューターと周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。お客様の取り付け方法に問題があった場合の故障や破損に関して弊社は一切の責任を負いません。
- 電源延長コードや特殊なアダプターを用いる場合は専門家に相談してください。これらは、
   回路のショート等の原因になる場合があります。
- ご使用の電源装置に電圧選択スイッチが付いている場合は、システムの損傷を防ぐために 電源装置の電圧選択スイッチがご利用の地域の電圧と合致しているかをご確認ください。ご 利用になる地域の電圧が不明な場合は、各地域の電力会社にお問い合わせください。
- 電源装置が故障した場合はご自分で修理・分解をせず、各メーカーや販売店にご相談ください。
- ・ 光デジタルS/PDIFは、光デジタルコンポーネントで、クラス1レーザー製品に分類されています。(本機能の搭載・非搭載は製品仕様によって異なります)



不可視レーザー光です。ビームを直接見たり触れたりしないでください。

### 操作上の注意

- 作業を行う前に、本パッケージに付属のマニュアル及び取り付ける部品のマニュアルを全て 熟読してください。
- ・ 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源コードに損傷がないことを確認してください。
- 各コネクタ及びスロット、ソケット、回路にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。電源回路のショート等の原因になります。
- ・ 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。
- 本製品は安定した場所に設置してください。
- 本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。火災や感電、やけど、故障の原因となり ます。修理は弊社修理センターまたは販売代理店にご依頼ください。

### 回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートPC等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含ま れており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使 用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用さ れます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の 拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

ASUSは各国の環境法等を満たし、またリサイクル従事者の作業の安全を図るよう、環境保護に関する厳しい基準を設定しております。ASUSのリサイクルに対する姿勢は、多方面において環境保護に大きく貢献しています。



本機は電気製品または電子装置であり、地域のゴミと一緒に捨てられません。また、本機の コンポーネントはリサイクル性を考慮した設計を採用しております。なお、廃棄の際は地域の 条例等の指示に従ってください。



本機に装着されているボタン型電池には水銀が含まれています。通常ゴミとして廃棄しないで ください。

### このマニュアルについて

このマニュアルには、マザーボードの取り付けやシステム構築の際に必要な情報が記してあり ます。

### マニュアルの概要

本書は以下のChapter から構成されています。

- Chapter 1: 製品の概要
   マザーボードの機能とサポートする新機能についての説明、及び各部位の説明。
- Chapter 2: 基本的な取り付け
   コンピューターの組み立て方、バックパネルについての説明。
- Chapter 3: UEFI BIOS 設定
   UEFI BIOS Utilityでのシステム設定の変更方法とパラメータの詳細。
- Chapter 4: RAID
   RAID 設定についての説明。
- Chapter 5: 付録
   製品の規格や海外の法令についての説明。

### 参考情報

#### 1. ASUSオフィシャルサイト(http://www.asus.com/)

多言語に対応した弊社ウェブページで、製品のアップデート情報やサポート情報をご確認い ただけます。

2. 追加ドキュメント

パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事 項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲 には含まれていません。

### ドライバーとユーティリティのダウンロード

ASUSオフィシャルページから、最新のドライバーやユーティリティをダウンロードすることができます。

- 1. ASUSオフィシャルサイト (http://www.asus.com) にアクセスします。
- 2. お使いの製品のページに移動します。
- 3. [サポート] [ドライバーとツール] の順にクリックします。
- 4. お使いのOSを選択し、内容をよく読んでご利用になるドライバーやユーティリティをダウン ロードします。

### このマニュアルの表記について

本書には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に 防止していただくために、守っていただきたい事項が記載されています。次の内容をよくご理解 いただいた上で本文をお読みください。





注意:ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回 避するための方法を説明しています。



**重要:**作業を完了するために必要な指示や設定方法を記載しています。



メモ:製品を使いやすくするための情報や補足の説明を記載しています。

#### 表記

太字	選択するメニューや項目を表示します。
<key></key>	<>で囲った文字は、キーボードのキーです。
	例: <enter>→Enter もしくはリターンキーを押してください。</enter>
<key1+key2+key3></key1+key2+key3>	1度に2つ以上のキーを押す必要がある場合は(+)を使って示して います。
	例: <ctrl+alt+del></ctrl+alt+del>



本書に記載の内容(安全のための注意事項を含む)は、製品やサービスの仕様変更などにより、 予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

	LGA1151ソケット対応 第8世代 Intel® Core™ プロセッサー・ファミリー
	14nm CPU サポート
対応CPU	Intel <sup>®</sup> Turbo Boost Technology 2.0 サポート*
	* Intel® Turbo Boost Technology 2.0のサポートはCPUにより異なります。
	* 最新の対応状況について、詳しくはASUSオフィシャルサイトをご覧ください。
搭載チップセット	Intel <sup>®</sup> Z370 チップセット
	DDR4 スロット×2:最大 32 GB / デュアルチャンネルサポート
対応メモリー	DDR4 4333+ (O.C.) / 4266 (O.C.) / 4133(O.C.) / 4000(O.C.) / 3866(O.C.) / 3733(O.C.) / 3600(O.C.) / 3466(O.C.) / 3400(O.C.) / 3333(O.C.) / 3300(O.C.) / 3200(O.C.) / 3000(O.C.) / 2800(O.C.) / 2666(O.C.) / 2400 / 2133 MHz Non-ECC Unbuffered DIMM 対応
	Intel <sup>®</sup> Extreme Memory Profile (XMP) サポート*
	* XMPメモリーの動作はメモリーコントローラーを内蔵するCPUの物理的特性に依存します。 最新の対応状況について、詳しくはASUSオフィシャルサイトをご覧ください。
	PCI Express 3.0 x16 スロット×1*
拡張スロット	* PCI Express 3.0 x16スロットは、HYPER M.2 X16 カードで最大 3 枚までの M.2 SSD を取り 付けることができます。
	統合型グラフィックスプロセッサー - Intel® HD Graphics サポート
	- HDMI1.4b:最大解像度 4096 x 2160 @ 24Hz
	- DisplayPort1.2*: 最大解像度 4096 x 2304 @ 60Hz
画面出力機能	Intel® InTru™ 3D/ Intel® Quick Sync Video/ Intel® Clear Video HD Technology/ Intel® Insider™ サポート
	最大共有メモリー1024MB
	* DisplayPort 1.2 マルチ・ストリーム・トランスポート対応。デイジーチェーン接続で最大3台ま でのディスプレイを接続可能
	Intel <sup>®</sup> Z370 チップセット
	- Intel® Rapid Storage Technology (RAID 0/1/5/10 サポート)
	- SATA 6Gb/s ポート×4
	- M.2 Socket 3 スロット×1*
	Key M、Type 2242/2260/2280、SATA / PCI Express 3.0 x4 接続対応
ストレージ機能	- M.2 Socket 3 スロット×1 *
	Key M、Type 2242/2260/2280、PCI Express 3.0 x4 接続対応
	- Intel® Smart Response Technology 対応**
	- Intel" Optane Memory 対応
	* Type 2242 モジュールの取り付けには、付属のM.2 2242フォームファクター用マウントキット をご 使用ください。
	** サポートする機能は搭載するCPUにより異なります。
	Intel® Ethernet Connection I219-V
LAN機能	Anti-surge LANGuard
	ROG GameFirst Technology

無線データ ネットワーク	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac 準拠 デュアルバンド (2.4GHz/5GHz) 、MU-MIMO対応
Bluetooth <sup>®</sup> 機能	Bluetooth <sup>®</sup> v4.2 * 対応するバージョンやプロファイルはご使用のOSに準じます。
オーディオ機能	ROG SupremeFX S1220A - 7.1 チャンネル HDオーディオコーデック         - 最高192kHz/32bitのハイレゾ音源の再生に対応*         - ヘッドホン出力インピーダンス検出機能         - ヘッドホン出力インピーダンス検出機能         - SN比: 120dBのステレオライン出力とSN比: 113dBのライン入力をサポート         - SupremeFX Shielding Technology         - ヘッドホンアンプを2基搭載         ジャック検出、マルチストリーミング、フロントパネル・ジャックリタスキング         光デジタルS/PDIF出力ポート (バックパネル)         オーディオ機能         - Sonic Radar III         - Sonic Studio Link         * HD Audio規格の192kHz/32bitまでのデータストリーム、96kHz/32bitでの8チャンネルサラ
USB 機能	<ul> <li>Intel' Z370 チップセット:</li> <li>USB 3.1 Gen1 ポート×5 (バックパネル×3ポート、基板上コネクター×1基)</li> <li>USB Type-C<sup>™</sup> with USB 3.1 Gen 1 ポート×1 (バックパネル)</li> <li>USB 2.0 ポート×6 (基板上コネクター×1基、バックパネル×4ポート)</li> <li>ASMedia' USB 3.1 Gen2 コントローラー*:</li> <li>USB 3.1 Gen 2 コネクター×1</li> <li>* 最大3A出力対応</li> </ul>
パックパネル インターフェース	DispalyPort 出力ボート×1 HDMI 出力ポート×1 LAN ポート×1 USB 3.1 Gen1 ポート×3 USB Type-C <sup>M</sup> with USB 3.1 Gen 1 ポート×1 USB 2.0 ポート×4 光デジタル S/PDIF 出力ポート×1 オーディオ 1/0 ポート×5 無線通信用アンテナポート×2
ROG独自機能	ROG RAMCache II ROG GameFirst IV ROG Overwolf ROG CloneDrive
搭載機能	5-Way Optimization - ワンクリックでPCを最適化 DIGI+VRM TPU - Auto Tuning、TPU、GPU Boost EPU

	Fan Xpert 4 - 自動最適化機能を搭載した究極の冷却性と静穏性を実現する高性能ファンコントロール機能
	<自作支援機能>
	- ASUS CrashFree BIOS 3
	- ASUS EZ Flash 3
	<q-design></q-design>
	- Q-Shield
	- Q-LED
	- Q-Slot
搭載機能	- Q-DIMM
	<高耐久•高品質>
	- SafeSlot - 重いカードも安心な高耐久PCI Expressスロット
	- DIGI+ VRM - デジタル電源回路
	- DRAM Overcurrent Protection - メモリー過電流保護回路
	- ESD Guards - 過電圧保護回路
	- Highly Durable Components - 高耐久コンポーネント
	- Stainless Steel Back I/O - ステンレス製バックパネル
	<asus独自機能></asus独自機能>
	- AURA Lighting Control
	- Al Suite 3
	- Ai Charger
	USB 3.1 Gen2 コネクター×1
	USB 3.1 Gen1 コネクター×1
	USB 2.0 コネクター×1
	SATA 6Gb/s コネクター×4
	4ピン CPU ファンコネクター×1
	4ピン ケースファンコネクター×1
	4ピン AIOポンプコネクター×1
其把 ⊢	24ピン MBU 電源コネクター×1
本でエース	8ピン EPS 12V 電源コネクター×1
	M.2 Socket 3 スロット×2*
	フロントパネルオーディオコネクター×1
	アドレサブルヘッダー×1
	システムパネルコネクター×1
	温度センサー コネクター×1
	CMOS クリアヘッダー×1
	* Type 2242 モジュールの取り付けには、付属のM.2 2242フォームファクター用マウントキット をご使用ください。

BIOS機能	128 Mb Flash ROM、UEFI AMI BIOS、PnP、DMI3.0、SM BIOS 3.0 ACPI 6.0、 多言語BIOS、ASUS EZ Flash 3、CrashFree BIOS 3、F11 EZ Tuning Wizard、 F6 Qfan Control、F3 My Favorites、Last Modified log、F12 画面キャプチャー、 ASUS SPD Information
管理機能	DMI 3.0, WOL by PME, PXE
サポートDVDの 主な内容	ドライバー各種 ASUS ユーティリティ各種 EZ Update アンチウイルスソフトウェア (OEM版)
サポートOS	Windows <sup>*</sup> 10 64-bit
フォームファクター	Mini-ITX フォームファクター、17cm×17cm (6.7インチ×6.7インチ)



製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。

### パッケージの内容

製品パッケージに以下のものが揃っていることを確認してください。

マザーボード	ROG STRIX Z370-I GAMING
/ <del></del>	SATA 6Gb/s ケーブル×4
ケーノル	アトレサノルヘッター延長ケーノル×1
	システムパネルケーブル×1
	I/Oシールド (Q-Shield) ×1
	M.2 2242フォームファクター用マウントキット×2
アクセサリー	M.2 固定用ネジ(ネジ・スペーサー) ×2
77699	CPUインストールツール×1
	2T2R デュアルバンド対応Wi-Fi /Bluetoothアンテナ×1
	ROG STRIX シリーズステッカー×1
ディスク	サポートDVD
ドキュメント	ユーザーマニュアル



・ 万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。

 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。予めご 了承ください。

# 取り付け工具とコンポーネント



PC ケース

...

10

各種取付用ネジ

電源供給ユニット



SATA光学ドライブ (必要に応じて) DDR4 SDRAMメモリー



グラフィックスカード (必要に応じて)

# 製品の概要

### 1.1 マザーボードの概要

#### 1.1.1 始める前に

/)`

パーツの取り付けや設定変更の際は、次の事項に注意してください。

- 各パーツを取り扱う前に、コンセントから電源ケーブルを抜いてください。
  - 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
  - ・ IC部分には絶対に手を触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
  - 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置くか、コンポーネントに付属 する袋に入れてください。
  - パーツの取り付け、取り外しを行う前に、電源ユニットのスイッチをオフにし、電源コード が電源から抜かれていることを確認してください。電力が供給された状態での作業は、 感電、故障の原因となります。

1.1.2 マザーボードのレイアウト







内部コネクターの詳細については「1.1.8 内部コネクター/ヘッダー」を、バックパネルコネクターの詳細については「2.2.1 バックパネルコネクター」をご参照ください。

#### レイアウトの内容

名称		ページ
1.	USB 3.1 Gen2 コネクター (U31G2_EC1)	1-12
2.	CPUファン、AIOポンプ、ケースファンコネクター (4ピン CPU_FAN、4ピン AIO_PUMP、4ピン CHA_FAN)	1-14
3.	ATX 電源コネクター (24ピン EATXPWR、8ピン EATX12V)	1-15
4.	温度センサーコネクター (2ピン T_SENSOR)	1-18
5.	CPUソケット:LGA1151	1-4
б.	M.2 Socket 3 スロット (M.2_1、M.2_2)	1-17
7.	DDR4 DIMM スロット	1-5
8.	Q-LED (CPU、DRAM、VGA、BOOT)	1-10
9.	RGB LED	1-10
10.	アドレサブルヘッダー (4-1 ピン ADD_HEADER)	1-18
11.	システムパネルコネクター (10-1 ピン F_PANEL)	1-16
12.	ビープスピーカーコネクター (4ピン SPEAKER)	1-13
13.	SATA 6 Gb/s コネクター (7ピン SATA6G_12、SATA 6G_34)	1-11
14.	USB 3.1 Gen1 コネクター (20-1 ピン U31G1_12)	1-12
15.	CMOS クリアヘッダー (2ピン CLRTC)	1-8
16.	USB 2.0 コネクター (10-1 ピン USB1112)	1-13
17.	フロントパネルオーディオコネクター (10-1 ピン AAFP)	1-11
18.	RTC バッテリーヘッダー (2ピン BATT_CON)	1-9

### 1.1.3 プロセッサー

本製品には、Intel®Turbo Boost Technology 2.0 を搭載した第8世代 Intel®Core™プロセッサー・ファミリーに対応する、LGA1151パッケージ用CPUソケットが搭載されています。



ROG STRIX Z370-I GAMING CPU socket LGA1151

- ・ 本製品は第8世代 Intel® Core™ プロセッサー・ファミリーのみサポートします。
- ・ CPUを取り付ける際は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。
  - CPUを取り付けた後もCPUソケットキャップは大切に保管してください。CPUソケットキャップは、輸送時にソケット内のピンの保護として必要になります。CPUソケットキャップが 無い状態で修理を依頼されますと、いかなる場合も保証の対象外となりますのでご注意下 さい。
  - ・ 製品保証は、CPUの間違った取り付け・取り外しに起因する故障及び不具合には適用されません。

### 1.1.4 システムメモリー

本製品には、DDR4メモリーに対応したDIMMスロットが2基搭載されています。



288-pin DDR4 DIMM sockets

推奨メモリー構成



#### メモリー構成

本製品のメモリースロットには、4 GB、8 GB、16 GBの DDR4 Non-ECC Unbuffered DIMMを取り 付けることができます。

異なる容量のメモリーをマルチチャンネル構成で取り付けた場合、アクセス領域はメモリ 一容量の合計値が小さい方のチャンネルに合わせて割り当てられ、容量の大きなメモリ 一の超過分に関してはシングルチャンネル用に割り当てられます。

- CPUの仕様電圧範囲以上の高い電圧を必要とするメモリーを取り付けるとCPUが損傷することがあります。CPUの仕様上の制限を超過しないメモリーをで使用ください。
- 同じCASレイテンシを持つメモリーを取り付けてください。またメモリーは同じベンダーの 同じ製造週の製品を取り付けることをお勧めします。



- メモリーの動作周波数はSerial Presence Detect (SPD) に依存しており、デフォルト設定では標準のSPD設定が優先されます。
- すべてのスロットにメモリーモジュールを取り付ける場合やオーバークロックを行う場合 は、安定した動作のために適切な冷却システムをご使用ください。
- XMPメモリーの動作はメモリーコントローラーを内蔵するCPUの物理的特性に依存します。XMPメモリーを取り付けた場合、メモリーの性能を発揮するにはUEFI BIOS UtilityでX.M.P. プロファイルを指定する必要があります。サポートするメモリーについてはQVLをご参照ください。
- 最新の対応状況について、詳しくはASUSオフィシャルサイトをご覧ください。 (http://www.asus.com)

### 1.1.5 拡張スロット



拡張カードの追加や取り外しを行う際は、必ず電源をオフにし、電源ケーブルを抜いてから行なってください。電源ケーブルを接続したまま作業をすると、負傷やマザーボードコンポーネントの損傷の原因となります。



1

スロット No.	スロット説明
1	PCIEX16 (PCI Express 3.0 x16 スロット)

HYPER M.2 X16 カード	レーン動作	M.2 SSD 最大搭載可能数
PCIEX16	x8 + x4 + x4	3枚



- HYPER M.2 X16 カードは別途お買い求めください。
- ・ HYPER M.2 X16 カードを使用するには、UEFI BIOS Utilityの設定が必要です。
- ・ 本機能は、互換性のあるM.2 SSDでのみご利用いただけます。
- 実際の転送速度は HYPER M.2 X16 カードに取り付けた M.2 SSD の仕様に準じます。

### 1.1.6 ジャンパー

#### 1. CMOSクリアヘッダー (2ピン CLRTC)

CMOSクリアヘッダーは、CMOSのリアルタイムクロック(RTC)RAMを消去するためのものです。CMOS RTC RAMを消去することにより、システム時計、システムパスワード、および設定パラメータを工場出荷時の状態に戻すことができます。システムパスワードなどのシステム情報を含むCMOS RAM データの維持は、マザーボード上のボタン型電池により行われています。



ROG STRIX Z370-I GAMING Clear RTC RAM

#### CMOS RTC RAMを消去する手順

- 1. コンピューターの電源をオフにし電源ケーブルをコンセントから抜きます。
- 2. ドライバーなどの金属製品を使用して、2つのピンに数秒間触れショートさせます。
- 3. 電源コードを差し込み、コンピューターの電源をオンにします。
- POST画面に「Press F1 to Run SETUP」と表示されたら<F1>を押してUEFI BIOS Utilityを起 動し設定を行います。



・ 上記の手順を踏んでもCMOS RTC RAMのデータが消去できない場合は、マザーボードの ボタン電池を取り外し、再度消去手順を実施してください。

 オーバークロックによりシステムがハングアップした場合は、C.P.R. (CPU Parameter Recall)機能をご利用いただけます。システムを停止して再起動すると、UEFI BIOSは自動的 にパラメータ設定をデフォルト設定値にリセットします。  RTCバッテリーヘッダー (2ピン BATT\_CON) CMOS (RTC) 電池のケーブルを接続します。



ROG STRIX Z370-I GAMING BATT\_CON

### 1.1.7 オンボードLED

#### 1. Q-LED (CPU, DRAM, VGA, BOOT)

システムは起動時にPOST (Power-on Self Test) と呼ばれる動作チェックを実行します。Q-LEDは重要なコンポーネント (CPU、メモリー、グラフィックスカード、起動デバイス) をPOST 時に順番にチェックし、エラーが検出されると該当箇所のLEDを点灯させ問題箇所を通知 します。LEDが点灯している場合、システムは正常に動作することができません。Q-LEDは、 素早く問題箇所を発見することができる非常に便利な機能です。



ROG STRIX Z370-I GAMING CPU/DRAM/ BOOT\_DEVICE/VGA LED

2. RGB LED

マザーボードを色鮮やかに彩るLEDです。LEDはCPU温度によって変化させたり、音楽にあわせて変化させたりと、様々な発光パターンと発光色を設定することができます。





### 1.1.8 内部コネクター/ヘッダー

#### 1. SATA 6Gb/s ポート (7ピン SATA6G\_12、SATA 6G\_34)

SATAストレージデバイスや光学ドライブを接続することができます。これらのポートに接続 したストレージデバイスを使用してRAIDを構築することが可能です。



ROG STRIX Z370-I GAMING Intel<sup>®</sup> SATA 6.0Gb/s connectors

Ø

SATA動作モードはデフォルトでAHCIモードに設定されています。SATA RAIDを構築する場合 は、UEFI BIOS Utilityで「SATA Mode Selection」を [Intel RST Premium With Intel Optane System Acceleration (RAID)] に設定してください。

2. フロントパネルオーディオコネクター (10-1ピン AAFP) フロントパネルオーディオ機能用のコネクターです。PCケースなどに付属するフロントパ ネルオーディオモジュールを接続することができます。



**ROG STRIX Z370-I GAMING Analog front panel connector** 

本製品を最高のオーディオパフォーマンスでご使用いただくために、HDオーディオモジュール を使用することをおすすめします。

/g

#### 3. USB 3.1 Gen2 コネクター (U31G2\_EC1)

USB 3.1 Gen 2 ポート拡張用コネクターです。USB 3.1 Gen 2 ポート増設用モジュールを接 続することができます。



ROG STRIX Z370-I GAMING USB3.1 Gen2 front panel connector



USB 3.1 Gen 2 モジュールは別途お買い求めください。

4. USB 3.1 Gen1 コネクター (20-1ピンU31G1\_12)

USB 3.1 Gen 1 ポート拡張用コネクターです。USB 3.1 Gen 1 増設用ブラケットやフロント パネルの USB 3.1 Gen 1 端子を接続することができます。



ROG STRIX Z370-I GAMING USB3.1 Gen1 connector

USB 3.1 Gen 1 モジュールは別途お買い求めください。

#### 5. USB 2.0 コネクター (10-1ピン USB1112)

USB 2.0 ポート拡張用コネクターです。USB 2.0 増設用ブラケットやフロントパネルのUSB 2.0 端子を接続することができます。



ROG STRIX Z370-I GAMING USB2.0 connector



IEEE 1394用ケーブルをUSBコネクターに接続しないでください。マザーボードが損傷する原因となります。

USB 2.0 モジュールは別途お買い求めください。

#### 6. ビープスピーカーコネクター (4ピン SPEAKER)

システム警告スピーカー用4ピンコネクターです。スピーカーはその鳴り方でシステムの 不具合を報告し、警告を発します。



7. CPUファン、AIOポンプ、ケースファンコネクター (4ピン CPU\_FAN、4ピン AIO\_PUMP、4ピン CHA\_FAN)

冷却ファン用コネクターです。冷却ファンのケーブルをこのコネクターに接続します。



- **ROG STRIX Z370-I GAMING Fan connectors** 
  - PCケース内に十分な空気の流れがないと、マザーボードやコンポーネントが損傷する恐れが あります。組み立ての際にはシステムの冷却ファン(吸/排気ファン)を必ず搭載してください。
    - ファンコネクターはジャンパーではありません。ファンコネクターにジャンパーキャップを 取り付けないでください。

13

- ・ CPUファンコネクター (CPU\_FAN) は、最大1A (12W) までのCPUファンをサポートします。
- コネクターに取り付けられた冷却ファンの制御方法はUEFI BIOS Utilityで設定することができます。
- オールインワン(AIO)型の水冷CPUクーラーをご使用の場合は、ボンプケーブルをAIOポ ンプコネクター(AIO\_PUMP)へ、ラジエターファンをCPUファンコネクター(CPU\_FAN)へ 接続してください。
- オールインワン(AIO)型の水冷CPUクーラーに複数のファンが搭載されている場合は、分岐ケーブルなどを別途ご用意の上ご使用ください。

#### 8. ATX電源コネクター (24ピン EATXPWR、8ピン EATX12V)

電源ユニット用コネクターです。電源ユニットのメインコネクターやCPU補助電源を接続します。電源ケーブルとコネクターにはツメがあるので、お互いがかみ合う方向に正しく接続してください。



**ROG STRIX Z370-I GAMING ATX power connectors** 



- ATX12V version 2.4 またはそれ以降の規格に準拠した電源ユニットをご使用ください。
- ・ EATX12Vコネクターには必ず電源ユニットのCPU補助電源ケーブルを接続してください。
- 大量に電力を消費するデバイスを使用する場合は、高出力の電源ユニットの使用をお勧めします。電源ユニットの能力が不十分だと、システムが不安定になる、またはシステムが起動できなくなる等の問題が発生する場合があります。

#### 9. システムパネルコネクター (10-1 ピン F\_PANEL)

PCケースのボタンやLEDケーブル、ビープスピーカーなどを取り付けることができます。



**ROG STRIX Z370-I GAMING System panel connector** 

システム電源 LED (2ピン PWRLED)

システム電源LED用2ピンコネクターです。PCケースなどの電源LEDケーブルを接続します。 このLEDはシステムの電源をオンにすると点灯し、システムがスリープ状態に入ると点滅します。

• ハードディスクドライブアクティビティ (2ピン HDD\_LED)

ハードディスクドライブアクティビティLED用2ピンコネクターです。マザーボード上のSATA ポートに接続しているストレージドライブがデータの読み書きを行なっている状態の時に 点灯または点滅します。

• 電源ボタン/ソフトオフボタン (2ピン PWRBTN)

システムの電源ボタン用2ピンコネクターです。電源ボタンを押すとシステムの電源がオン になります。OSが起動している状態で、電源スイッチを押してから4秒以内に離すと、シス テムはOSの設定に従いスリープモード、または休止状態、シャットダウンに移行します。電 源スイッチを4秒以上押すと、システムはOSの設定に関わらず強制的にオフになります。

リセットボタン (2ピン RESET)

リセットボタン用2ピンコネクターです。リセットボタンを押すとシステムは強制的に再起動 が実行されます。保存されていない作業中のデータは削除されてしまいます。

#### 10. M.2 Socket 3 スロット (M.2\_1、M.2\_2)

M.2 socket 3 (Key M) 規格のSSDを取り付けることができます。



ROG STRIX Z370-I GAMING M.2(SOCKET3)s



#### M.2\_1 スロット:

Key M、Type 2242/2260/2280、SATA / PCI Express 3.0 x4 接続対応

- ・ M.2\_2 スロット: Key M, Type 2242/2260/2280、PCI Express 3.0 x4 接続対応
- ・ 本製品のM.2 Socket 3 スロットは Intel® Rapid Storage Technology (Intel® RST) 対応です。
- ・ 本製品のM.2 Socket 3 スロットは Intel®Optane™Memory 対応です。



M.2 SSD M.2規格のSSDは別途お買い求めください。

#### Type 2242 のM.2 SSD モジュールを取り付ける

Type 2242 のM.2 SSD モジュールを取り付ける場合は、付属のM.2 2242フォームファクター用マウントキットに取り付けてから使用します。

- 1. 付属のM.2 固定用ネジを使用して2242フォームファクター用マウントキットをマザー ボードのType 2260用穴に取り付けます。
- 2. Type 2242 のM.2 SSD モジュールをM.2スロットに取り付けます。
- 3. M.2 2242フォームファクター用マウントキットに付属のネジを使用してM.2 SSD モジ ュールを、先ほど取り付けたマウントキットに固定します。





#### 11. 温度センサーコネクター (2ピン T\_SENSOR)

サーミスタケーブルを接続することで、任意の場所やデバイスの温度をモニターすることができます。



#### ROG STRIX Z370-I GAMING T\_SENSOR connector



サーミスタケーブルは別途お買い求めください。

#### 12. アドレサブルヘッダー (4-1ピン ADD\_HEADER)

マイクロコントローラーを内蔵するアドレス可能なWS2811 LEDドライバーIC搭載のRGB LED WS2812B ベースのLEDストリップを接続することができます。



**ROG STRIX Z370-I GAMING ADD header** 



アドレサブルヘッダーは、定格最大5V/3A (LED 最大 60 個まで)の RGB LED WS2812B ベースの LED ストリップに対応しています。



コンポーネントの取り付け・取り外しを行う際は、事前にATX電源がオフになっていること、電源 コードが電源から取り外されていることを確認してください。マザーボード及び周辺機器、コン ポーネントの故障や不具合の原因となる恐れがあります。

- ・ 実際の点灯の仕方と色はLEDストリップにより異なります。
- 点灯しない場合は、LEDストリップが本製品がサポートする仕様の範囲内であること、コネクターが正しい向きで接続されていることをご確認ください。
- このコネクターに接続されたRGB LED ストリップは電源オン時のみ点灯します。
- LED ストリップは別途お買い求めください。

基本的な取り付け



- 2.1 コンピューターを組み立てる
- 2.1.1 マザーボードを取り付ける



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。マザー ボードのレイアウトはモデルにより異なりますが、取り付け方法は同じです。

1. PCケースにI/Oシールドとマザーボード設置用のスペーサーを取り付けます。



2. I/Oシールドとマザーボードのバックパネルの位置が合っていることを確認し、スペーサー とマザーボードのネジ穴を合わせるように正しい位置に設置します。



3. 下図を参考に、取り付けるネジをすべて仮止めし、対角線上に少しずつ締めていきます。







ネジはきつく締めすぎないように注意してください。

# 2.1.2 CPUを取り付ける



本製品には、第8世代 Intel® Core™ プロセッサー・ファミリーに対応する、LGA1151パッケ ージ用CPUソケットが搭載されています。その他のCPUパッケージを取り付けることはでき ません。









- 付属のCPUインストールツールは本製品専用です。本製品以外でのご使用はお止めくだ さい。故障の原因となることがあります。
- CPUを取り付ける際は、CPUがソケットの所定の位置に設置されていることを必ず確認してからプレートを下してください。
- CPUインストールツールは、CPUの取り付け作業を容易にするためのものであり、取り付けの安全性を完全に保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- CPUインストールツールを使用する際は、机などの安定した場所で両サイドをしっかり持ち作業を行なってください。
- CPUの取り付けを行なう際は、正しい手順で行なってください。製品保証は、CPUの間違っ た取り付け・取り外しに起因する故障及び不具合には適用されません。


CPUクーラーを取り付ける前に、必ずCPUに サーマルグリスを塗布してください。CPUク ーラーによって、サーマルグリスや熱伝導体 シートなどが購入時から塗付されているも のがあります。







本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。ヘッダーの位置は「1.1.2 マザーボードのレイアウト」をご参照ください。







メモリーを取り外す



2.1.5 ATX 電源を取り付ける





8ピン EPS12V電源コネクター (EATX12V) には必ず電源ユニットのCPU補助電源ケーブルを接続してください。





# 2.1.7 フロント 1/0 コネクターを取り付ける

フロントパネルコネクター



USB 3.1 Gen2 コネクター



USB 3.1 Gen1 コネクター



コネクターは接続できる向きが決まってい ます。端子形状を確認し、まっずぐ奥まで差 し込んでください。



USB 2.0 コネクター



フロントパネルオーディオコネクター



# 2.1.8 拡張カードを取り付ける

PCI Express x16 カード







Chapter 2

- サーマルパッド保護フィルムの剥がし忘れが無いようにご注意ください。
- M.2 SSD は必ず付属の M.2 固定用ネジで固定してください。
  - Type 2242 モジュールの取り付けには、付属のM.2 2242フォームファクター用マウントキットをご 使用ください。

# 2.1.10 付属のアンテナを取り付ける

バックパネルの無線通信用アンテナポートに付属のアンテナを接続します。





- 使用中にアンテナが外れないよう、しっかりと取り付けてください。
- ・ アンテナは人体から20cm以上離れた場所に設置してください。
- 無線通信機能は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。
   販売国以外で使用する場合はご注意ください。



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。マザーボードのレイアウトはモデルにより異なりますが、取り付け方法は同じです。

2.2 バックパネルとオーディオ接続

2.2.1 バックパネルコネクター



バッ	クパネルコネクター		
1.	USB 3.1 Gen1 ポート	б.	光デジタルS/PDIF 出力ポート
2.	USB 2.0 ポート	7.	無線通信用アンテナポート
3.	DisplayPort 出力ポート	8.	HDMI 出力ポート
4.	LAN ポート*	9.	USB Type-C™ with USB 3.1 Gen 1 ポート
5.	オーディオ 1/0 ポート**		

\* /\*\*: LEDの点灯内容、及びオーディオ I/O ポートの構成は次のページでご確認ください。

スピード LED

#### \* LAN ポート LED

アクティブリンク LED		スピード LEI	D
状態	説明	状態	説明
消灯	未確立	消灯	10 Mbps
オレンジ(点灯)	リンク確立	オレンジ	100 Mbps
オレンジ (点滅)	データ送受信中	グリーン	1 Gbps
オレンジ (一定間隔で点滅)	S5から起動可能な状態		



LANコントローラーはUEFI BIOS Utilityで無効にすることができますが、LANポートのLEDは無効状態でも点灯/点滅する場合があります。

# \*\*オーディオ構成表

ポート	ヘッドセット 2.1チャンネル	4.1チャンネル	5.1チャンネル	7.1チャンネル
ライトブルー	ライン入力	ライン入力	ライン入力	サイドスピーカー出力
ライム	ライン出力	フロント スピーカー出力	フロント スピーカー出力	フロント スピーカー出力
ピンク	マイク入力	マイク入力	マイク入力	マイク入力
オレンジ	-	-	センター/ サブウーファ	センター/ サブウーファ
ブラック	-	リア スピーカー出力	リア スピーカー出力	リア スピーカー出力

オーディオ 1/0 ポート



ヘッドホンとマイクを接続



ステレオスピーカーに接続



# 2.1 チャンネルスピーカーに接続



4.1 チャンネルスピーカーに接続



5.1 チャンネルスピーカーに接続



7.1 チャンネルスピーカーに接続



# 2.3 初めて起動する

- 1. すべてのコンポーネントやデバイスの取り付けが完了したら、PCケースのカバーを取り付けます。
- 2. すべてのスイッチをがオフになっていることを確認します。
- 3. 電源コードをPCケース背面の電源ユニットのコネクターに接続します。
- 4. 電源コードをコンセントに接続します。
- 5. 以下の順番でデバイスの電源をオンにします。
  - a. モニター/ディスプレイ
  - b. 外部デバイス類(デイジーチェーンの最後のデバイスから)
  - c. システム電源
- 6. 電源ユニットにスイッチがある場合はスイッチをオン状態にします。次にPCケースの電源 ボタンを押してシステムの電源をオンにします。正常に電源がオンになるとシステム電源 LEDが点灯します。また、ディスプレイがスタンバイ状態の場合、システムの電源をオンにす るとディスプレイは自動的にスタンバイ状態から復帰します。

次に、システムはPOST(Power On Self Test)と呼ばれる起動時の自己診断テストを実行します。このPOST時に問題が確認された場合はBIOSによりビープ音が発せられるか、ディスプレイ画面上にエラーメッセージが表示されます。

システムの電源をオンにしてから30秒以上経過してもディスプレイ画面になにも表示され ない場合は、電源オンテストに失敗した可能性があります。ジャンパー設定や取り付けたデ バイスの状態を確認し、問題が解決しない場合は各メーカーや販売店にご相談ください。 次の表はビープ音が示すエラーの内容です。

UEFI BIOS ビープ	説明
短いビープ1回	グラフィックスカードの検出(正常起動) クイックブート設定が無効(正常起動) キーボード検出エラー
長いビープ1回+短いビープ2回、 数秒後同じパターンで繰り返し	メモリー検出エラー
長いビープ1回+短いビープ3回	グラフィックスカード検出エラー
長いビープ1回+短いビープ4回	ハードウェアエラー

 POST中にキーボードの<F2>または<Delete>を押すとUEFI BIOS Utilityを起動することが できます。UEFI BIOS Utilityの設定について、詳細はChapter 3 をご参照ください。

# 2.4 システムの電源をオフにする

OSが起動している状態で、電源スイッチを押してから4秒以内に離すと、システムはOS の設定に従いスリープモード、または休止状態、シャットダウンに移行します。電源スイッ チを4秒以上押すと、システムはOSの設定に関わらず強制的にオフになります。この機能 は、OSやシステムがハングアップ(ロック)して、通常のシステム終了作業が行えない場合に のみご使用ください。強制終了は各コンポーネントに負担をかけます。万一の場合を除き 頻繁に強制終了をしないようご注意ください。

# UEFI BIOS設定

# 3

# 3.1 UEFIとは



ASUS UEFI BIOSは、従来のキーボード操作だけでなくマウスでの操作も可能となったグラフィカ ルでユーザーフレンドリーなインターフェースです。OSを使用するのと同じくらいに簡単に操 作することができます。\* EFI (UEFI) が従来のBIOSと同じ機能を持つことから、ASUSはEFI (UEFI) を 「UEFI BIOS」、「BIOS」と表記します。

UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) は、Intel 社が提唱している、従来パソコンのハード ウェア制御を担ってきた BIOS に代わる、OS とファームウェアのインターフェース仕様です。UEFI は非常に高機能な最新のファームウェアで従来のBIOSと違い拡張性に富んでいます。UEFIの設 定はマザーボードのCMOS RAM (CMOS) に保存されています。通常、UEFIのデフォルト設定はほ とんどの環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以下の状況以外で は、デフォルト設定のままで使用することをお勧めします。

- システム起動中にエラーメッセージが表示され、UEFI BIOS Utility を起動するように指示が あった場合
- ・ UEFI BIOSの設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合



不適切な設定を行なうと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出ることがあります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者等のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

# 3.2 UEFI BIOS Utility

BIOS (Basic Input and Output System) とは、マザーボードに接続されたコンポーネント・デバイ スを制御するシステムプログラムです。コンピューターの起動時に最初に起動するプログラムで、 記憶装置の構成、オーバークロック設定、電源の管理、起動デバイス設定などのシステムハード ウェアの設定をすることができます。

本製品にはBIOSに代わるUEFI (Unified Extensible Firmware Interface) が搭載されています。UEFI BIOS Utility では各種パラメーターの調整や各種機能の有効/無効、BIOSイメージの更新などを 行なうことができます。

#### コンピューターの起動時にUEFI BIOS Utilityを起動する

システムは起動時にPOST (Power On Self Test) と呼ばれる起動時の自己診断テストを実行します。このPOST中に<Delete>を押すことでUEFI BIOS Utility を起動することができます。UEFI BIOS Utility の操作方法は、画面右下に表示される操作説明をご覧ください。



- マウスでUEFI BIOS Utilityの操作を行なう場合は、USBマウスをマザーボードに接続して からシステムの電源をオンにしてください。
- 設定を変更した後システムが不安定になる場合は、デフォルト設定をロードしてください。デフォルト設定に戻すには、<FS>を押すかExitメニューの「Load Optimized Defaults」を選択します。詳細は「3.10 Exit」をご参照ください。
- 設定を変更した後システムが起動しなくなった場合は、CMOSクリアを実行し、マザーボードのリセットを行なってください。CMOSクリアヘッダーの位置は「1.1.6 ジャンパー」をご参照ください。
- ・ UEFI BIOS UtilityはBluetooth®デバイスには対応しておりません。
- UEFI BIOS Utility上で、キーボードは英語配列キーボードとして認識されます。
- UEFI BIOS Utilityの各項目の名称、設定値、デフォルト設定値は、ご利用のモデルやUEFI BIOS バージョン、取り付けたハードウェアにより異なる場合があります。予めご了承ください。



19

UEFI BIOS Utilityについて、詳しくは弊社Webサイトに掲載のBIOSコンテンツマニュルも併せてご覧ください。

#### メニュー画面

UEFI BIOS Utilityには、**EZ Mode** と**Advanced Mode** の2つのモードがあります。モードの切り替えは<**F7**>を押すか、画面右下の「**Advanced Mode(F7)**」/「**EZ Mode(F7)**」ボタンを押すことで 簡単に切り替えることができます。

# 3.2.1 EZ Mode

EZ Mode では、基本的なシステム情報の一覧が表示され、表示言語やシステムパフォーマン スモード、ブートデバイスの優先順位などが設定できます。Advanced Mode へ切り替えるには <F7>を押すか、画面右下の「Advanced Mode (F7)」ボタンを押すことで簡単に切り替えること ができます。



UEFI BIOS Utility起動時に表示する画面モードは変更することができます。詳細は「3.8 Boot」をご参照ください。





各項目に表示される内容は、取り付けたデバイスにより異なります。

# 3.2.2 Advanced Mode

Advanced Modeでは、高度なシステムの調整から、オンボード機能の有効/無効など詳細な設定を行なうことができます。



Advanced ModeからEZ Modeへ切り替えるには<F7>を押すか、画面右下の「EZ Mode(F7)」ボ タンをクリックすることで簡単に切り替えることができます。

Mode     Mode       08:03/2017     OO:44 <sup>I</sup> ⊕ English ⊜ Myfavorte(F3)     Po Qlar       My Favorites     Main     Ai Tweaker     Advanced       Target CPU Turbo-Mode Frequency : 4200MHz     Target DRAM Frequency : 2133MHz     Target Cache Frequency : 3300MHz       Target Cache Frequency : 3300MHz     Target Cll Graphics Fereumence : 1100MHz	n Control(F6) Q Ez Tuning Wizard(F11) ि मिल K Monitor Boot Tool Exit	La Hardware Monitor CPU Frequency Temperature 2700 MHz BVC
Ai Overdock Tuner ASUS MultiCore Enhancement	Auto -	BLLK Curre voltage 100.0 MHz 0.992 V Ratio 31x
CPU Core Ratio Limit 2-Core Ratio Limit 3-Core Ratio Limit	Sync All Cores -	Memory Frequency Voltage 2133 MHz 1.216 V Capacity 4096 MB
4-Core Ratio Limit 5-Core Ratio Limit 6-Core Datio Limit	Auto       Auto	Voltage +12V +5V 12.000 V 5.120 V
Manual: When the manual mode is selected, the BCLK(base clock) freq     Monual: When the XMP(extreme memory profile) mode is selected, the BC     automatically.     Version 2.17.1246. Copyri	uency can be assigned manually. LK frequency and memory parameters will be optimize Last Modified   ight (C) 2017 American Megatrends, Inj.	ed 3.360 V EzMode(F7)

メニューバー

画面上部に表示されるメニューバーはカテゴリーを表しています。各カテゴリーで設定できる内容は 次のとおりです。

My Favorites	登録したお気に入り項目
Main	基本システム設定
Ai Tweaker	オーバークロック関連
Advanced	拡張システム設定
Monitor	システム温度/電力状態の表示、およびファンの設定
Boot	システム起動関連
Tool	独自機能
Exit	終了メニュー、及びデフォルト設定のロード

## メニュー

設定可能なアイテムまたは各種情報のタイトルが表示されます。設定の変更は、カーソルキーで 項目に移動し<Enter>を押して選択します。

#### サブメニュー

サブメニューが含まれる項目には矢印マークが表示されています。サブメニューを開くには、カー ソルキーで項目に移動し<Enter>を押します。

#### 表示言語

UEFI BIOS Utility で表示する言語を選択することができます。

#### My Favorites (F3)

ツリーマップから頻繁に使用する項目をお気に入りとして登録することで、画面の切り替えなどの 面倒な操作をせずに一画面で各種設定を変更することができるようになります。



詳細は「3.3 My Favorites」をご参照ください。

## Qfan Control (F6)

Q-Fan Tuning画面を起動し、Q-Fan Control機能によるファンの調整を行なうことができます。



詳細は「3.2.3 Q-Fan Control」をご参照ください。

## EZ Tuning Wizard (F11)

画面に表示される選択肢を選ぶだけで、簡単にシステムのオーバークロックやRAIDを構築することができます。



詳細は「3.2.4 EZ Tuning Wizard」をご参照ください。

#### Search on FAQ

このボタンの上にマウスカーソルを合わせるとQRコードが表示されます。表示されたQRコード をお使いのスマートデバイスでスキャンすることで、ASUSサポートサイトにすばやくアクセスする ことができます。



#### Hot Keys(操作ガイド)

UEFI BIOS Utilityを操作するためのキーボードの基本操作やショートカットの一覧を表示します。

#### スクロールバー

設定項目が画面に収まりきらない場合は、スクロールバーがメニュー画面の右側に表示されま す。マウスや カーソルキー、または <Page Up>/<Page Down> で、画面をスクロールすることが できます。

#### 詳細情報

選択した項目に関する詳細な情報を表示します。また、本製品では<F12>を押してUEFI BIOS Utility 画面のスクリーンショットを撮影し、USBメモリーに保存することができます。

#### 構成フィールド

構成フィールドには各項目の現在設定されている状態や数値が表示されます。ユーザーによる変 更が可能でない項目は、選択することができません。

設定可能なフィールドは選択するとハイライト表示されます。フィールドの値を変更するには、そのフィルドをマウスで選択するか、表示されるナビゲーションキーに従い数値を変更し、<Enter>を押して決定します。

#### Last Modified (最終更新内容)

前回保存したUEFI BIOS Utilityの変更内容を表示します。

# 3.2.3 Q-Fan Control

Q-Fan Controlでは、CPU温度にあわせて各ファンの回転数を制御することができます。また、環境に合わせて既定の動作プロファイルを選択することも可能です。



マニュアル設定

## ファンの回転数を手動で設定する

プロファイルの「Manual」を選択することで、ファンの回転数を手動で設定することができます。



#### 手順

- 1. 設定を変更するファンを選択し、プロファイルの「Manual」を選択します。
- 2. スピードポイントをドラッグして、CPU温度に対するファンの回転数を設定します。
- 3. 「Apply」をクリックして設定を適用します。メインメニューへ戻るには「Exit (ESC)」をクリックします。

# 3.2.4 EZ Tuning Wizard

設定ウィザード表示される画面の選択肢を選ぶだけで、簡単にシステムのオーバークロックや RAIDの構築をすることができます。



## オーバークロック設定

手順

- キーボードの<F11>を押すか、画面上部の ♀ EZ Tuning Wizard(F11) をクリックしEZ Tuning Wizardを起動します。
- 2. 次に、「OC」を選択し「Next」をクリックします。
- 3. 「Daily Computing」「Gaming/Media Editing」のいずれかから、PCの利用環境を選択し、「Next」をクリックします。



 「Box cooler (リファレンス/ストッククーラー)」「Tower cooler (大型/タワー型クーラー)」 「Water cooler (液冷)」の中から、取り付けられているCPUクーラーのタイプを選択し、 「Next」をクリックします。



5. 「Estimation tuning result」の内容を確認し問題がなければ「Next」→「Yes」の順にクリックし自動調整を実行します。

#### RAIDの構築

手順

- 1. キーボードの<F11>を押すか、画面上部の ♀ EZ Tuning Wizard(F11) をクリックし、EZ Tuning Wizardを起動します。
- 2. 「RAID」を選択し「Yes」をクリックします。再度確認メッセージが表示されるので「Yes」をクリックするとシステムが自動的に再起動されます。
  - ・ 取り付けられているストレージデバイスに既存のRAIDボリュームが存在しないことをご確認ください。
    - RAIDを構築するストレージデバイスは、Intel®チップセットが制御するSATAポート、M.2 Socket 3スロット、PCI Expressスロットに取り付けてください。
    - SATA動作モードがRAID以外に設定されている場合は、EZ Tuning Wizard上で動作モードを「RAID」に変更することができます。
- 3. RAIDを構築するストレージデバイスのインターフェースを「PCIE」「SATA」のどちらかから 選択し「Next」をクリックします。
- 4. RAIDに使用するドライブが正しいことを確認し、「Next」をクリックします。

Please select the port t	hat you want to set to [RAID] mode.
	SATA
PCIE mode	
The SATA HDD/SSD will restart for this change to boot failure, and syster	I change from [AHCI] to [RAID] mode and the system will to take effect. Changing the SATA mode may cause system n is not recoverable.
	Next Cancel

5. 「Easy Backup」または「Super Speed」のいずれかから構築するRAIDタイプを選択し、 「Next」をクリックします。



a. Easy Backupを選択した場合は、「Easy Backup (RAID1)」または「Easy Backup (RAID10)」どちらかのRAIDレベルを選択します。





Easy Backup (RAID10) は、SATAストレージデバイスを4台以上接続している場合にのみ選択することができます。

b. Super Speedを選択した場合は、「Super Speed (RAID0)」または「Super Speed (RAID5)」どちらかのRAIDレベルを選択します。

Storage Function Selection	
Select the RAID type for your sele	ected storage function
Super Speed (RAID 0)	
i k	
Back	Next Cancel

Super Speed (RAID5) は、SATAストレージデバイスを3台以上接続している場合にのみ選択することができます。

- 6. RAIDレベルを選択したら「Next」をクリックします。
- 7. 画面に指示に従いセットアップを完了します。

# 3.3 My Favorites

頻繁に使用する項目をお気に入りとして登録することで、画面の切り替えなどの面倒な操作をせずに一画面で各種設定を変更することができます。

VISUIS UEFI BIOS Utility - Advanced Mode		11 .
08/03/2017 01:11 🌣   🌐 English 👘 MyFavorite(F3) 🏷 Qfan Col	ntrol(F6) 🔮 EZ Tuning Wizard(F11) 🖓 Hot Keys	
My Favorites Main Ai Tweaker Advanced M	lonitor Boot Tool Exit	Hardware Monitor
CPU Core Ratio	Sync All Cores 👻	CPU
1-Core Ratio Limit	Auto	Frequency Temperature 2900 MHz 89°C
		BCLK Core Voltage
		100.0 MHz 1.024 V
		31x
		Memory
		Frequency Voltage
DRAM Frequency	Auto 👻	2133 MHz 1.216 V
CPU Core/Cache Voltage	1.024V Auto 👻	4096 MB
DRAM Voltage	1.216V Auto	Voltage
► PCH Storage Configuration		
Onhoard Daviese Configuration		12.096 V 5.160 V
[Auto]: The system will adjust all core ratios automatically. [Sync All Cores]: Configure a core ratio limit to synchronize all cores. [Per Core]: Configure the core ratio limit per core.		+3.3V 3.360 V
Version 2.17.1246, Copyright	Last Modified EzMo	de(F7)  → Search on FAQ

## お気に入り項目を追加する

手順

- 1. Advanced Modeでキーボードの<F3>を押すか **()**(F3)MyFavorite をクリックし、Setup Tree Mapを開きます。
- 2. Setup Tree Mapでお気に入りに登録したい項目を選択します。



 まず、メインメニューパネルでカテゴリーを選択し、次にサブメニューパネルでお気に入り に追加したい項目を選択します。お気に入りに追加したい項目で<Enter>を押すか + を クリックして項目を追加します。



次の項目はお気に入りに追加することはできません:

- ・ ユーザー管理項目(システム言語や起動デバイス優先順位など)
- ・ ユーザー設定項目 (システム日付や時間など)
- 4. 「Exit (ESC)」をクリックするか、<ESC>を押してメインメニューに戻ります。
- 5. 登録した項目はメニューバー「My Favorites」から呼び出すことができます。

# 3.4 Main

Advanced Modeのメインメニューでは、マザーボード、CPU、メモリーの基本的な情報を表示する他に、表示言語やセキュリティの設定を行なうことができます。

## Security

システムセキュリティ設定の変更が可能です。



- パスワードを忘れた場合、CMOSクリアを実行しパスワードを削除します。CMOSクリアへ ッダーの位置は「1.1.6 ジャンパー」をご参照ください。
  - パスワードを削除すると、画面上の「Administrator」または「User Password」にはデフォ ルト設定の「Not Installed」と表示されます。パスワードを再び設定すると、「Installed」と 表示されます。

# 3.5 Ai Tweaker

高度なシステムの調整をすることができます。



不適切な値を設定した場合、システムの誤作動や故障などの原因となる恐れがあります。設定 を変更する際は十分ご注意ください。



本項目で表示される設定オプションは取り付けたCPUとメモリーにより異なります。

## Ai Overclock Tuner

CPUのオーバークロックオプションを選択して、CPUのベースクロック (基本動作周波数) などを 設定することができます

[Auto]	標準ベースクロックで動作
[Manual]	ベースクロックを任意に設定可能
[XMP]	XMP (eXtreme Memory Profile) 対応メモリーのプロファイルに従い動作



次の項目は「Ai Overclock Tuner」を [Manual] または [XMP] に設定すると表示されます。

#### **BCLK Frequency**

ベースクロック (基準動作周波数) を設定します。設定範囲は40.0MHz~650.0MHzです。



この項目は、取り付けたCPUの仕様に基づいて設定することをお勧めします。

オーバークロック設定を行なった際やメモリーの動作周波数を変更した際などに、自動的にパフォーマンスを最適化するASUS MultiCore Enhancement機能の有効/無効を設定します。 設定オプション: [Auto] [Disabled]

## **CPU Core Ratio**

CPUの動作倍率の同期方法を設定します。

[Auto] 自動的にすべてのコアの動作倍率を調整します。

[Sync All Cores] 1コア時の動作倍率上限を、すべてのコアの動作倍率として設定します。

[Per Core] アクティブなコア数毎に動作倍率の上限を設定します。

## **DRAM Odd Ratio Mode**

Odd Ratio modeの有効/無効を設定します。この機能により細分化されたメモリークロックを使 用することが可能になります。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

#### **DRAM Frequency**

メモリーの動作周波数を設定することができます。設定可能なオプションは、ベースクロック周波 数の設定に応じて変化します。 設定オプション: [Auto] [DDR4-800MHz] - [DDR4-4266MHz]

#### TPU

難しい操作をせずにCPUやメモリーの動作周波数、電圧を自動的に調節しシステム全体の パフォーマンスを向上させます。

[Keep Current Settings] 現在の設定を維持します。

[TPU I] 空冷式システム向けのオーバークロック調整を実行します。

[TPU II]



本機能を使用する際は、適切なサーマルインターフェースマテリアル (TIM) をご使用ください。

水冷式システム向けのオーバークロック調整を実行します。

## **Internal CPU Power Management**

CPUの動作倍率やEnhanced Intel SpeedStep®、Turbo Boostの設定をすることができます。

#### Intel(R) SpeedStep(tm)

CPUの負荷に応じて動作周波数や電圧を段階的に変化させることで消費電力と発熱を抑える、拡張版 Intel SpeedStep テクノロジー (EIST) の有効/無効を設定します。 設定オプション: [Auto] [Enabled] [Disabled]

#### Turbo Mode

CPUにかかる負荷や発熱の状況に応じて動作クロックを変化させる、Intel®Turbo Boost Technologyの有効/無効を設定します。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## **Turbo Mode Parameters**

#### Long Duration Package Power Limit

Turbo Boost時に参照するCPUの電力値を設定します。 設定範囲は1~4095 で、単位はW(ワット)です。

#### Package Power Time Window

CPUの電力値が設定値を超えた場合の、Turbo Boostによるブースト状態の維持時間を設定します。 設定範囲は1~127で、単位はms(ミリ秒)です。

#### **Short Duration Package Power Limit**

```
Turbo Boost時のCPU瞬間電力上限値を設定します。
設定範囲は1~4095 で、単位はW(ワット)です。
```

# 3.6 Advanced

CPU、チップセット、オンボードデバイスなどの詳細設定の変更ができます。



アドバンスドメニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。設定の 変更は十分にご注意ください。

# 3.6.1 Platform Misc Configuration

PCI Expressの省電力機能に関する設定をすることができます。

# 3.6.2 CPU Configuration

CPUに関する設定をすることができます。



この画面に表示される項目は、取り付けたCPUにより異なります。

## Hyper-Threading

1つのコアで2つのスレッドを同時に実行することができる、Intel® Hyper-Threading Technology の有効/無効を設定します。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## **CPU - Power Management Control**

CPUの動作倍率やEnhanced Intel SpeedStep®の設定をすることができます。

#### Intel(R) SpeedStep(tm)

CPUの負荷に応じて動作周波数や電圧を段階的に変化させることで消費電力と発熱を抑える、拡張版 Intel SpeedStep テクノロジー (EIST)の有効/無効を設定します。[Auto]自動的に動作します。[Disabled]CPUは定格速度で動作します。[Enabled]OSが自動的にCPUの電圧とコア周波数を調節します。これにより電力消費と発熱量を抑えることができます。

#### Turbo Mode

CPUにかかる負荷や発熱の状況に応じて動作クロックを変化させる、Intel®Turbo Boost Technologyの有効/無効を設定します。 設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Chapter 3

#### **CPU C-states**

CPUの省電力機能Cステートの設定をします。 設定オプション: [Auto] [Enabled] [Disabled]

#### CFG Lock

MSR 0xE2 [15] CFG lock bitの有効/無効を設定することができます。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

# 3.6.3 System Agent (SA) Configuration

CPUが内蔵するシステムバスやPCI Expressのリンク速度、メモリーコントローラーに関する設定をすることができます。

# 3.6.4 PCH Configuration

チップセット(PCH)が提供する各機能の設定をすることができます。

#### **PCI Express Configuration**

PCI Expressスロットに関する設定をすることができます。

#### PCIe Speed

チップセットが制御するPCI Express スロットの動作モードを設定します。 設定オプション: [Auto] [Gen1] [Gen2] [Gen3]

# 3.6.5 PCH Storage Configuration

チップセットが制御するSerial ATAコントローラーに関する設定をすることができます。

#### SATA Controller(s)

チップセットが制御するSerial ATAコントローラーの有効/無効を設定します。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

#### SATA Mode Selection

Serial ATAコントローラーの動作モードを設定します。

[AHCI] SATAデバイス本来の性能を発揮させます。このモードを選択する ことによりホットプラグ機能とネイティブ・コマンド・キューイング (NCQ)をサポートすることができます。

[Intel RST Premium With RAID7 Intel Optane System Acceleration (RAID)]

[Intel RST Premium With RAIDアレイを構築することができます。

## SMART Self Test

POST中にSerial ATAデバイスのセルフテストを実行するかどうかを設定します。 設定オプション: [Enabled] [Disabled]

## SATA6G\_1(Charcoal Black) - SATA6G\_4(Charcoal Black)

SATA6G\_1(Charcoal Black) - SATA6G\_4(Charcoal Black)

個別にSerial ATAポートの有効/無効を設定します。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

#### Hot Plug

Serial ATAポートのホットプラグ機能の有効/無効を設定することができます。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

# 3.6.6 Onboard Devices Configuration

オンボードデバイスに関する設定をすることができます。

## Hyper M.2X16

HYPER M.2 X16 カード用にPCI Express スロット内レーン分割の有効/無効を設定します。

[Disabled] HYPER M.2 X16 カードに取り付けられた M.2 SSD を1枚検出することができ ます。

[Enabled]

led] HYPER M.2 X16 カードに取り付けられた M.2 SSD を最大3枚検出することが できます。



本製品でHYPER M.2 X16 カードを使用する際は、M.2 SSDを第1スロット(M.2\_1)、第3スロット (M.2\_3)、第4スロット(M.2\_4)に取り付けてください。

## HD Audio Controller

オンボード実装されたオーディオコントローラーの有効/無効を設定します。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## **RGB LED lighting**

オンボード搭載されたRGB LEDの有効/無効を設定します。

#### When system is in working state

システム動作中のLEDの有効/無効を設定します。 設定オプション: [On] [Off]

#### When system is in sleep, hibernate or soft off states

S3 (スリープ)、S4 (休止状態)、S5 (ソフトオフ) 状態のLEDの有効/無効を設定します。 設定オプション: [On] [Off]

## Wi-Fi Controller

IEEE 802.11 a/b/g/n/ac 用コントローラーの有効/無効を設定します。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## **Bluetooth Controller**

Bluetooth<sup>®</sup> コントローラーの有効/無効を設定します。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## Intel LAN Controller

Intel 製LANコントローラーの有効/無効を設定します。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## **USB Type C Power Switch**

USB Type-C™ ポートの給電方法を設定します。

[Auto] システムは自動的に接続されたデバイスのタイプを検出し、必要に応じ適切な 給電を行います。

[Enabled] 常にデバイスに給電を行います。故障の原因となりますので対応機器以外でのご使用はお止めください。

# 3.6.7 APM Configuration

電源管理に関する設定をすることができます。

#### **ErP Ready**

ErP (Energy-related Products)の条件を満たすよう、S5状態になるとUEFI BIOSが特定の電源をオフにすることを許可します。この項目を有効に設定すると、、他のすべてのPME (Power ManagementEvent) オプションは無効になります。 設定オプション: [Disabled] [Enable(S4+S5)] [Enable(S5)]

# 3.6.8 Network Stack Configuration

ネットワークスタックに関する設定をすることができます。

# 3.6.9 HDD/SSD SMART Information

マザーボードに取り付けられたストレージデバイスのS.M.A.R.T.情報を表示します。



NVM Express デバイスのS.M.A.R.T. 情報表示はサポートしておりません。

# 3.6.10 USB Configuration

チップセットが内蔵するUSB コントローラーに関する設定をすることができます。

#### **USB Single Port Control**

個別にUSBポートの有効/無効を設定することができます。



USBポートの位置は「1.1.2 マザーボードのレイアウト」をご参照ください。

# 3.7 Monitor

システムの温度、電源状態、ファン回転数を確認することができます。また、この項目では取り付けられたファンの制御を行なうことができます。

## **Qfan Configuration**

#### Qfan Tuning

マザーボードに取り付けられたファンの最低回転数を計測し、各ファンの最小デューティサイクルを自動で設定します。

# 3.8 Boot

システム起動に関する設定をすることができます。

## Fast Boot

起動時のシステム初期化などを省略し、すばやく起動する機能の有効/無効を設定します。 設定オプション:[Enabled] [Disabled]



次の項目は、「Fast Boot」を [Enabled] に設定することで表示されます。

#### Next Boot after AC Power Loss

停電などでシステムが不正終了した場合、次回の起動方法を設定します。[Normal Boot]Fast Boot設定を解除し、通常の起動プロセスを実行します。[Fast Boot]不正終了後もFast Boot設定が維持されます。

## **Boot Configuration**

#### Setup Mode

UEFI BIOS Utility起動時の初期動作モードを選択します。 設定オプション: [Advanced Mode] [EZ Mode]

## CSM (Compatibility Support Module)

CSM (Compatibility Support Module)のパラメータ設定です。この設定によってUEFIドライバーを持たないデバイスとの互換性を向上することが可能です。

#### Launch CSM

CSM (Compatibility Support Module)の有効/無効を設定します。

[Auto]	システムは自動的に起動可能デバイスと追加デバイスを検出します。
[Enabled]	CSMを有効にし、Windows® UEFIモード、またはUEFIドライバーを持たない追加デバイスを完全にサポートし互換性を高めます。
[Disabled]	Security Firmware UpdateとSecure Bootを完全にサポートするためにCSMを無効にします。



次の項目は、「Launch CSM」を [Enabled] に設定することで表示されます。

#### Boot Device Control

起動を許可するデバイスタイプを選択します。 設定オプション: [UEFI and Legacy OPROM] [Legacy OPROM only] [UEFI only]

#### **Boot from Network Devices**

起動に使用するネットワークデバイスの優先タイプを選択します。起動時間を 短縮する場合は[**Ignore**] を選択します。 設定オプション: [Legacy only] [UEFI driver first] [Ignore]

#### Boot from Storage Devices

起動に使用するストレージデバイスの優先タイプを選択します。起動時間を短 縮する場合は[**Ignore**] を選択します。 設定オプション: [Legacy only] [UEFI driver first] [Ignore]

#### **Boot from PCI-E Expansion Devices**

起動に使用するPCI Express/PCI 拡張デバイスの優先タイプを選択します。 設定オプション: [Legacy only] [UEFI driver first]

#### Secure Boot

システム起動時に許可されていないファームウェア、オペレーティングシステム、UEFIドライバー (オプションROM)が実行されないようにするWindows® Secure Bootに関する設定を行なうこ とができます。

#### **Boot Option Priorities**

使用可能なデバイスから、起動デバイスの起動優先順位を指定します。画面に表示される デバイスの数は、起動可能なデバイスの数に依存します。



システム起動中に起動デバイスを選択するには、POST時に<F8>を押します。

Windows® OSをセーフモードで起動する方法は、Microsoft®のサポート情報をご確認ください。http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows/support

#### **Boot Override**

起動デバイスを選択し起動します。画面に表示されるデバイスの項目の数は、システムに接続されたデバイスの数により異なります。項目(デバイス)を選択すると、選択したデバイスからシステムを起動します。

# 3.9 Tool

ASUS独自機能の設定をします。マウスで項目を選択するか、キーボードのカーソルキーで項目を 選択し、<Enter>を押して各機能を起動することができます。

## **Setup Animator**

UEFI BIOS Utilityの画面切り替えアニメーション効果の有効/無効を設定します。 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

# 3.9.1 ASUS EZ Flash 3 Utility

UEFI BIOS更新ツール「**ASUS EZ Flash 3 Utility**」を起動します。このユーティリティはカーソル キーと<Enter>を使用して操作します。



詳細は「3.11.2 ASUS EZ Flash 3 Utility」をご参照ください。

# 3.9.2 Secure Erase

SSD は、従来の HDD (ハードディスク・ドライブ)とは仕組みが異なり、使用しているうちに性能が低下していきます。Secure Eraseは、ATA/Serial ATAのストレージ向けに用意されているコマンドによるデータの消去方法で、実行することでSSDの性能を工場出荷時の状態に戻すことができます。



Secure EraseはAHCI モードでのみ使用することができます。使用の際はUEFI BIOS Utilityを起 動して「Advanced Mode」→「Advanced」→「PCH Storage Configuration」→「SATA Mode Selection」を [AHCI] に設定してください。

Secure Eraseを起動するには、UEFI BIOS Utilityを起動して「Advanced Mode」→「Tool」の順に進み、「Secure Erase」を選択します。



Secure Erase 機能は対応する製品でのみ利用することができます。NVM Express (NVMe) SSD には対応しておりません。



- Secure Eraseにかかる時間はSSDの容量により異なります。また、Secure Eraseの実行中は システムの電源を切らないでください。
- Secure Erase 機能を使用すると、SSD上のデータはすべて消去されます。事前に必要なデータのバックアップを必ず行なってください。




### 状態の定義:

- Frozen BIOSによりSSDが凍結されている状態です。Secure Erase を実行するには、SSD の凍結状態を解除するためにコンピューターのハードリセットを行なう必要があります。
- Locked Secure Eraseでの作業が中断または停止した場合、SSDがロックされます。この状態は、ASUSによって定義されたものとは異なるパスワードを使用するサードパーティ製ソフトウェアを使用した場合に発生することがあります。Secure Erase を実行するには、サードパーティ製ソフトウェアでSSDのロック状態を解除する必要があります。

# 3.9.3 ASUS Overclocking Profile

ASUS Overclocking Profileでは、設定をプロファイルとして複数作成することができます。また作成したプロファイルを読み込んで瞬時に設定を変更することが可能です。

### Load from Profile

保存したプロファイルから設定を読み込みます。プロファイルの番号をキーボードで入力し、 <Enter>を押し「Yes」を選択します。



 設定をロード中はシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システム 起動エラーの原因となります。

設定をロードする場合は、保存された設定の構成時と同一のハードウェア(CPU、メモリーなど)とUEFI BIOSバージョンでのご使用をお勧めします。異なったハードウェアやBIOSバージョン 設定をロードすると、システム起動エラーやハードウェアが故障する可能性がございます。

### Profile Name

プロファイル名を入力します。設定したプロファイルが分かりやすいように、ご希望の名前を英数 字で入力してください。

### Save to Profile

現在の設定をプロファイルとして保存します。キーボードで1から8の数字を入力しプロファイル番号を割り当て、<Enter>を押し「Yes」を選択します。

### Load/Save Profile from/to USB Drive

USBストレージデバイスを使用して、UEFI BIOS設定のインポート/エクスポートをすることができます。

# 3.9.4 ASUS SPD Information

メモリースロットに設置されたメモリーモジュールのSPD (Serial Presence Detect) 情報を読み出して表示します。

# 3.9.5 Graphics Card Information

マザーボードに取り付けられたグラフィックスカードの情報を表示します。

### **GPU Post**

マザーボードに取り付けられたグラフィックスカードの情報が表示されます。さらに最高のパフォーマンスで使用するために、マルチGPU構成時の推奨するPCI Expressスロットをご案内します。



この機能は特定のASUSグラフィックスカードでのみ使用することができます。

# 3.10 Exit

設定の保存や取り消しのほか、デフォルト設定の読み込みを行なうことができます。

### Load Optimized Defaults

すべての設定を初期設定値に戻します。<F5>を押すことで同じ動作を行なうことができます。

### Save Changes & Reset

設定した変更を保存し、セットアップを終了します。再起動後、設定した値が適用されます。<**F10**> を押すことで同じ動作を行なうことができます。

### **Discard Changes & Exit**

設定した変更を保存せず、セットアップを終了します。再起動後、設定は変更前の状態に戻ります。

### Launch EFI Shell from USB drives

EFI Shell アプリケーション (shellx64.efiなど) を保存したUSBメモリーから、EFI Shellを起動します。

# 3.11 UEFI BIOSの更新

ASUSオフィシャルサイトでは、最新のBIOSイメージファイルを公開しております。UEFI BIOSを更 新することで、システムの安定性や互換性、パフォーマンスが上がる場合があります。ただし、UEFI BIOSの更新にはリスクが伴います。現在のバージョンで問題がない場合は、**UEFI BIOSの更新を** 行わないでください。不適切な更新は、システム起動エラーの原因となります。更新は必要な場合 のみ行ない、更新の際は次の手順に従い慎重に行なってください。



最新のBIOSイメージファイルは、ASUSオフィシャルサイト(http://www.asus.com)からダウンロードすることができます。

本製品では、次の機能を使用してUEFI BIOSの更新と管理を行なうことができます。

- 1. EZ Update: Windows<sup>®</sup> 環境でBIOSイメージを更新することができます。
- 2. ASUS EZ Flash 3 Utility: USBメモリーを使用してUEFI BIOS UtilityからBIOSイメージを更新することができます。
- 3. ASUS CrashFree BIOS 3: BIOSイメージに破損やエラーが発生した際、サポートDVDまたは USBメモリーを使用してBIOSイメージを復旧することができます。

# 3.11.1 EZ Update

EZ Updateは、Windows<sup>®</sup> 環境でUEFI BIOSの更新を行なうことができるユーティリティです。オンラインでUEFI BIOSや各種ユーティリティを更新することができます。



EZ Update を使用するには、インターネット接続が必要です。

# 3.11.2 ASUS EZ Flash 3 Utility

ASUS EZ Flash 3 Utility は、OSベースのユーティリティを起動することなくUEFI BIOSを短時間で 更新することができます。

- ・ 安全性及び信頼性を確保するため、Load Optimized Defaults を実行しUEFI BIOSの設定 を初期設定値に戻してから更新を行なってください。
- インターネットアップデートは、国や地域によっては利用できない場合があります。ご利用 可能地域であっても、お客様の回線契約内容によってはご利用いただけない場合があり ます。予めご了承ください。

### USBメモリーを使用してUEFI BIOSを更新する手順

- 1. BIOSイメージファイルを保存したUSBメモリーをシステムにセットします。
- 2. UEFI BIOS UtilityのAdvanced Mode を起動し、Tool メニューから「ASUS EZ Flash 3 Utility」を起動します。
- 3. 「via Storage Devices(s)」を選択します。



- 4. DriveフィールドでBIOSイメージファイルが保存されているUSBメモリーを選択し<Enter> を押します。
- 5. Folderフィールドで更新に使用するBIOSイメージファイルを選択し<Enter>を押します。
- 6. 読み込まれたBIOSイメージファイルが正しいことを確認し、UEFI BIOSの更新を開始します。
- 7. UEFI BIOSの更新が完了したら、「OK」ボタンを押してシステムを再起動します。

ASUS EZ Flash 3 Utility v03.00	dvanced Mode			/
Model: ROG STRIX Z370-I G	AMING Version: 0203		Date: 07/20/2017	
File Path: fs0:\				
Drive	Folder			
<pre>     Thternet (Offline)     Storage Device(s)     fs0:\ [29544 MB] </pre>	07/10/2017 17:38 07/13/2017 15:50 07/11/2017 19:57 06/30/2017 07:57 06/20/2017 07:49 07/11/2017 17:52 05/23/2017 16:51 07/11/2017 16:55 07/12/2017 16:46	<dir> <dir> <dir> <dir> <dir> <dir> <dir> <dir> <dir> <dir> <dir> <dir> <dir> <dir></dir></dir></dir></dir></dir></dir></dir></dir></dir></dir></dir></dir></dir></dir>	ZCS54KL E13298_ROG_STRIX_2370-E_GAMING E13190_Blue_Cave_UM 13013_Blue_Cave_Booklet_QSG E13206_RPA-ACS3(Special_UK)_QSG_V2 E13278_BAP-AC1300_QSG E12841_RP-AC65(Special)_QSG_V4 E13246_RP-AC65(Special)_QSG_V2 E13250_RP-AC65(Special)_QSG	



- 安全性及び信頼性を確保するため、FAT32/16ファイルシステムをもつシングルパーティションのUSBメモリーをご使用ください。
- UEFI BIOSの更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが 破損、損傷しシステムを起動することができなくなる恐れがあります。UEFI BIOSの更新に伴う 不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。



安全性及び信頼性を確保するため、UEFI BIOSの更新後はUEFI BIOS Utilityの初期設定値をロードすることをおすすめします。

### インターネットを使用してUEFI BIOSを更新する手順

- 1. UEFI BIOS UtilityのAdvanced Mode を起動し、Tool メニューから「ASUS EZ Flash 3 Utility」を起動します。
- 2. 「via Internet」を選択します。



3. インターネット接続方法を選択します。

Network Connection Please select the Interr	net connection type.		
	PPPGE	255.X.X.X Fixed IP	
	Next	Cancel	ĺ

- 4. 画面に表示される指示に従い、UEFI BIOSを更新します。
- 5. UEFI BIOSの更新が完了したら、システムを再起動します。



安全性及び信頼性を確保するため、UEFI BIOSの更新後はUEFI BIOS Utilityの初期設定値をロードすることをおすすめします。

# 3.11.3 ASUS CrashFree BIOS 3

ASUS CrashFree BIOS 3 はUEFI BIOSを復旧することができるツールです。更新時などに破損した UEFI BIOSをサポートDVDまたはUSBメモリーを使用して復旧することができます。



本機能を使用する前にUSBメモリーに保存したBIOSイメージファイルの名前を 「Z370IGAM.CAP」に変更してください。

### **UEFI BIOSを復旧する**

手順

- 1. BIOSイメージファイルを保存したUSBメモリーまたはサポートDVDをシステムにセットします。
- 2. システムの電源をオンにします。
- 3. USBメモリーまたはサポートDVDのBIOSイメージファイルが検出されると、BIOSイメージ ファイルを読み込み自動的にUEFI BIOSの復旧を開始します。
- UEFI BIOSの復旧が完了したら、UEFI BIOS UtilityでLoad Optimized Defaults を実行して 設定を初期設定値に戻します。



UEFI BIOSの更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが 破損、損傷しシステムを起動することができなくなる恐れがあります。UEFI BIOSの更新に伴う 不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

# RAID



# 4.1 RAID設定

本製品は、Intel® Rapid Storage TechnologyによるRAID (Redundant Array of Inexpensive Disks) レベル 0、1、5、10 をサポートしています。

S

RAIDアレイに組み込まれたSATAストレージデバイスにWindows<sup>®</sup> OSをインストールする場合 は、RAIDドライバーディスクを作成し、OSのインストール時にRAIDドライバーを読み込ませる 必要がある場合があります。

## 4.1.1 RAID定義

### RAID 0 (データストライピング):

SATAストレージデバイスに対しパラレル方式でデータを読み/書きします。それぞれのSATAストレージデバイスの役割はシングルドライブと同じですが、転送率はアレイに参加している台数倍に上り、データへのアクセス速度を向上させます。セットアップには、最低2台のSATAストレージデバイス(同じモデル、同容量)が必要です。

### RAID 1 (データミラーリング):

1台目のドライブから、2台目のドライブに、同じデータイメージをコピーし保存します。ドライブ が1台破損しても、ディスクアレイマネジメントソフトウェアが、アプリケーションを正常なドライ ブに移動することによって、完全なコピーとして残ります。システム全体のデータプロテクションと フォールト・トレランスを向上させます。セットアップには、最低2台の新しいSATAストレージデバ イス、または、既存のドライブと新しいドライブが必要です。既存のドライブを使う場合、新しいド ライブは既存のものと同じサイズかそれ以上である必要があります。

### RAID 5 (パリティ付きストライピング):

3台以上のSATAストレージデバイス間のデータとパリティ情報をストライピングします。利点は、SATAストレージデバイスのパフォーマンスの向上、フォールト・トレランス、記憶容量の増加です。データのやり取り、相関的なデータベースのアプリケーション、企業内のリソース作成など、ビジネスにおけるシステムの構築に最適です。セットアップには最低3台の同じSATAストレージデバイスが必要です。

### RAID 10 (ミラーリング + ストライピング):

データストライピングとデータミラーリングをパリティ (冗長データ) なしで結合したもの。RAID 0とRAID1構成のすべての利点が得られます。セットアップには、最低4台のSATAストレージデバイ スが必要です。

# 4.1.2 ストレージデバイスを取り付ける

本製品はSerial ATA接続とPCI Express接続のストレージデバイスをサポートしています。ディスクアレイを作成する場合は、最適なパフォーマンスを得るために、同じモデル、同じ容量のストレージデバイスをご使用ください。

# 4.1.3 UEFI BIOS Utility上でRAIDの設定をする

### 手順

- 1. POST実行中にUEFI BIOS Utility を起動します。
- Advanced Modeに切り替え、「Advanced」→「PCH Storage Configuration」の順に進みます。
- 3. 「SATA Mode Selection」を [Intel RST Premium With Intel Optane System Acceleration (RAID)] に設定します。



PCI Express接続のストレージデバイスを使用する場合は、併せて PCIE Storage RAID Support に関連するアイテムも有効にしてください。

- Boot > CSM (Compatibility Support Module)の順に進みLaunch CSMを [Disabled] に 設定します。
- 5. 設定の変更を保存してUEFI BIOS Utilityを一旦終了し、システム再起動時にUEFI BIOS Utilityを起動します。
- Advanced Modeに切り替え、「Advanced」→「Intel(R) Rapid Storage Technology」の順 に進みます。



チップセットの仕様により、SATAポートの動作モードを個別に設定することはできません。

Intel® Rapid Storage Technology の設定項目が表示されない場合は、一旦BIOS設定を保存し再起動後にもう一度 UEFI BIOS Utility をご確認ください。



### RAIDボリュームを作成する

手順

1. Intel® Rapid Storage Technology メニューより「**Create RAID Volume**」を選択します。

08/03/2017     00:16 <sup>†</sup> ⊕ English     ■ MyFavorite(F3)     ≫ Qfan Control(F6)     Ø E2 Tuning Wizard(F1)     ☑ Hot K       My Favorites     Main     Ai Tweaker <u>Advanced</u> Monitor     Boot     Tool     Exit	eys
← Advanced\Intel(R) Rapid Storage Technology\Create RAID Volume	CPU
	Frequency Temperature 2000 MHz 89°C
Name: Volume1	BCLK Core Voltage
RAID Level: RAID0(Stripe) -	Ratio 19x
SATA 0.2, ST3160815AS 6RA7QIYT, 149.0GB	
SATA 0.3, ST380817AS 5MR2YAWG, 149.0GB	2133 MHz 1.216 V
	Capacity
Strip Size:	
Capacity (MB):	Voltage

- 2. 「Name」では1~16文字のRAIDボリューム名を入力します。RAID ボリュームの名前は ASCII英数字で入力する必要があります。
- 3. 「**RAID Level**」でRAIDレベルを選択します。
- 4. 「Select Disks」でRAIDを構成するSATAストレージデバイスを選択します。

ASLIS UEFI BIOS Utility - Advanced Mode	11 .
08/03/2017 00:19 🗢 English 🗐 MyFavorite(F3) 🗞 Qfan Control(F6) 🛛 EZ Tuning Wizard(F11) 🛽 Hot Keys	
My Favorites Main Ai Tweaker <u>Advanced</u> Monitor Boot Tool Exit	Hardware Monitor
create katu volume	CPU
Name: Volume1	Frequency Temperature 2000 MHz 89°C
RAID Level:	BCLK Core Voltage 100.0 MHz 0.880 V
	Ratio 19x
SATA 0.2, ST316081SAS 6RA7QJYT, 149.0GB	
SATA 0.3, ST380817AS 5MR2YAWG, 149.0GB X 🗸	Memory
	Frequency Voltage 2133 MHz 1.216 V
Strip Size:	Capacity
Capacity (MB): 152633	4096 MB
	Voltage
➤ Create Volume	+12V +5V
	12.096 V 5.120 V
	- N.

5. 「Strip Size」でストライプサイズを選択します。

UEFI BIOS Utility – Advanced Mode	Afan Control(F6) SEZ Tuning Wizard(F11) I Hot Keys	
My Favorites Main Ai Tweaker Advanced	Monitor Boot Tool Exit	Hardware Monito
Name: RAID Level: Select Disks: SATA 0.2, ST3160815AS 6RA7QJYT, 149.0GB SATA 0.3, ST380817AS SMR2YAWG, 149.0GB	Volume1       RALD0(Stripe)	CPU Frequency 2100 MHz BCLK COre Voltage 0.0.0 MHz 0.880 V Ratio 19x Memory
Strip Size:	16KB -	Frequency Voltage 2133 MHz 1.216 V
Capacity (MB):	4KB 8KB 16KB	Capacity 4096 MB
	32KB 64KB 128KB	Voltage
		12.096 V 5.120 V
Strip size bolo		+3.

- 6. 「Capacity (MB)」でRAIDボリュームのサイズを入力します。
- 7. すべての設定が完了したら「Create Volume」を選択し、<Enter>を押します。

ASUS UEFI BIOS Utility - Advanced Mode	
08/03/2017 00:19 🌣 🖶 English 🗐 MyFavorite(F3) 🕹 Qfan Control(F6) 🛛 EZ Tuning Wizard(F11) 🛽 Hot Keys	
My Favorites Main Ai Tweaker <u>Advanced</u> Monitor Boot Tool Exit	Hardware Monitor
	CPU
Name: Volume1	Frequency Temperature 2000 MHz 89°C
RAID Level:	BCLK Core Voltage 100.0 MHz 0.880 V
	Ratio
SATA 0.2, ST3160815AS 6RA7QJYT, 149.0GB X	
SATA 0.3, ST380817AS 5MR2YAWG, 149.0GB X 🗸	Memory
	Frequency Voltage 2133 MHz 1.216 V
Strip Size:	Capacity
Capacity (MB): 152633	4096 MB
	Voltage
≻ Create Volume	voluge
	+120 +5V 12 006 V 5 120 V

### RAIDボリュームを削除する

RAIDボリュームを削除すると、そのボリューム上の既存のデータはすべて失われます。大切な データはRAIDボリュームを削除する前に必ずバックアップをお取りください。

### 手順

1. Intel® Rapid Storage Technology メインメニューより削除する RAID ボリュームを選択 し、<Enter>を押します。



確認画面が表示されたら<Yes>を押してRAIDボリュームの削除を実行します。<No>を押してRAIDボリュームの削除をキャンセルします。



# 4.1.4 Intel<sup>®</sup> Rapid Storage Technology Option ROM ユーティリティ

Intel® Rapid Storage Technology Option ROMユーティリティを開く

- 1. POST実行中にUEFI BIOS Utility を起動します。
- 2. Advanced Modeに切り替え、「Advanced」→「PCH Storage Configuration」の順に進みます。
- 3. 「SATA Mode Selection」を [Intel RST Premium With Intel Optane System Acceleration (RAID)] に設定します。
- 4. 設定の変更を保存してUEFI BIOS Utilityを一旦終了し、システムを再起動します。
- 5. POST時に<Ctrl + I> を押します。

Intel(R) Rapid Storage Technology - Option - v10.5.1.1070 Copyright(C) 2003-14 Intel Corporation. All Rights Reserved.					
[ MAIN MENU ] 1. Create RAID Volume 4. Recovery Volume Options 2. Delete RAID Volume 5. Acceleration Options 3. Reset Disks to Non-RAID 6. Exit					
RAID Volumes: None defined. Physical Devices: Port Device Model 0 ST3160812AS	DISK/VOLUME Serial # 9LSOHJA4	INFORMATIC Size 149.06B	Type/Status(Vol ID)		
1 ST3160812AS 2 ST3160812AS 3 ST3160812AS	9LSOF4HL 3LSOJYL8 9LSOBJ5H	149.0GB 149.0GB 149.0GB	Non-RAID Disk Non-RAID Disk Non-RAID Disk		
[↑↓]-Select	[ESC]-E:	xit	[ENTER]-Select Me	nu	

Intel<sup>®</sup> Rapid Storage Technology Option ROM 画面の下側には、操作説明が表示されています。



### RAIDボリュームを作成する

手順

- 1. メインメニューより「1. Create RAID Volume」を選択します。
- 2. 「Name」では1~16文字のRAIDボリューム名を入力し、<Enter>を押します。RAIDボリュームの名前はASCII英数字で入力する必要があります。

Intel(R) Rapic Copyright(C) 20	i Storage Technology - Opt 03-14 Intel Corporation. #	ion - v10.5.1.1070 All Rights Reserved.
E	CREATE VOLUME MENT Name: Volume 0 NAID Level: Disks: Strip Size: Capacity: Sync: Create volume	a)
Enter a unique vol and is 16 characte	[HELP] lume name that has no s ers or less.	pecial characters
[†]-Select	[ESC]-Exit	[ENTER]-Select Menu

- 3. 「**RAID Level**」ではRAIDレベルを選択し、<Enter>で確定します。
- 「Disks」ではRAIDを構成するSATAストレージデバイスを選択します。カーソルキーで RAIDボリュームに組み込みたいSATAストレージデバイスにカーソルを合わせ<Space>を 押します。選択されたデバイスの左側にはマークが表示されます。

Port	Device Model	Serial #	Size	Status
0	ST3160812AS	9LSOHJA4	149.0GB	Non-RAID Disk
1	ST3160812AS	9LSOF4HL	149.0GB	Non-RAID Disk
	ST3160812AS	3LS0JYL8	149.0GB	Non-RAID Disk
	ST3160812AS	9LSOBJ5H	149.0GB	Non-RAID Disk
	Select 2 to		creating th	ne volume.

5. RAIDボリュームに使用するドライブを選択したら、<Enter>を押します。

- 6. 必要に応じてストライプサイズを選択し、<Enter>で確定します。
- 7. 「Capacity」ではRAIDボリュームのサイズを入力し、<Enter>で確定します。
- 8. すべての設定が完了したら<Create Volume>を選択し、<Enter>を押します。
- 9. 確認画面が表示されたら<Y>を押してRAIDボリュームの作成を実行します。

Are you sure you want to create this volume? (Y/N)

### RAIDボリュームを削除する



手順

- 1. メインメニューより「2. Delete RAID Volume」を選択します。
- 2. カーソルキーで削除するRAIDボリュームを選択し、<Delete>を押します。

		= [DFIFTF V	OLIME MENUL		
Name Volume0	Level RAIDO (St	Drives	Capacity 298.0GB	Status Normal	Bootable Yes
[HELP] Deleting a volume will reset the disks to non-RAID. WARNING: ALL DISK DATA WILL BE DELETED. (This does not apply to Recovery volumes)					
	-Select [E	SC]-Previou	ıs Menu [DEI	L]-Delete	Volume

3. 確認画面が表示されたら<Y>を押してRAIDボリュームの削除を実行します。



### Intel® Rapid Storage Technology Option ROM ユーティリティを閉じる

手順

- 1. メインメニューより「6. Exit」を選択します。
- 2. 確認画面が表示されたら<Y>を押してオプションROMを閉じます。



# 4.2 RAIDドライバーをインストールする

構築したRAIDアレイにOSをインストールするには、OSインストール時にRAIDドライバーを読み 込ませる必要がある場合があります。



RAIDドライバーは、付属のサポートDVDに収録されています。

・ 最新のドライバーは、ASUSオフィシャルサイトからダウンロードすることができます。 (http://www.asus.com)

# 4.2.1 Windows'OSインストール時にRAIDドライバーをインストールする

手順

- 1. Windows®のインストール場所を選択する画面でRAIDドライバーを保存したメディアをシ ステムにセットし、「**ドライバーの読み込み**」をクリックします。
- 2. 「参照」をクリックし、RAIDドライバーが含まれているフォルダーを選択します。
- 3. インストールするドライバーを選択し、「次へ」をクリックします。
- 4. 画面の指示に従い、インストールを完了させます。



USBメモリーからRAIDドライバーを読み込む場合、別のコンピューターなどでサポートDVDからRAIDドライバーをコピーする必要があります。



古い光学ドライブの中にはUEFIネイティブインストールに対応していないものがあります。UEFI モードでWindows® OSをインストールする際は、光学ドライブがUEFIネイティブインストールに 対応していること、UEFIドライバーが読み込まれていることをご確認ください。



# ご注意

# **Federal Communications Commission Statement**

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

# Compliance Statement of Innovation, Science and Economic Development Canada (ISED)

This device complies with Innovation, Science and Economic Development Canada licence exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Operation in the band 5150–5250 MHz is only for indoor use to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems.

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

# Déclaration de conformité de Innovation, Sciences et Développement économique Canada (ISED)

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

La bande 5150–5250 MHz est réservée uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

# VCCI: Japan Compliance Statement Class B ITE

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目 的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、 受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

# **KC: Korea Warning Statement**

B급 기기 (가정용 방송통신기자재) 이 기기는 가정용(B급) 전자과적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며,모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

\*당해 무선설비는 전파훈신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습 니다.

# REACH

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <a href="http://csr.asus.com/english/REACH.htm">http://csr.asus.com/english/REACH.htm</a>.



DO NOT throw the motherboard in municipal waste. This product has been designed to enable proper reuse of parts and recycling. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the product (electrical and electronic equipment) should not be placed in municipal waste. Check local regulations for disposal of electronic products.



DO NOT throw the mercury-containing button cell battery in municipal waste. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the battery should not be placed in municipal waste.

# ASUS Recycling/Takeback Services

ASUS recycling and takeback programs come from our commitment to the highest standards for protecting our environment. We believe in providing solutions for you to be able to responsibly recycle our products, batteries, other components as well as the packaging materials. Please go to http://csr.asus.com/english/Takeback.htm for detailed recycling information in different regions.

# **Regional notice for California**



Cancer and Reproductive Harm - <u>www.P65Warnings.ca.gov</u>

# **RF** exposure warning

This equipment must be installed and operated in accordance with provided instructions and the antenna(s) used for this transmitter must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons and must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter. End-users and installers must be provide with antenna installation instructions and transmitter operating conditions for satisfying RF exposure compliance.

# FCC Bluetooth Wireless Compliance

The antenna used with this transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter subject to the conditions of the FCC Grant.



# **Bluetooth Industry Canada Statement**

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

# Déclaration d'Industrie Canada relative aux modules sans fil Bluetooth

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

# **NCC: Taiwan Wireless Statement**

```
無線設備的警告聲明
```

```
經型式認證合格之低功率射頻電機,非經許可,公司、商號或使用者均不得擅自變更射頻、加
大功率或變更原設計之特性及功能,低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信;
經發現有干擾現象時,應立即停用,並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信指依電信
法規定作業之無線通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電
機設備之干擾。
```

於 5.25GHz 至 5.35GHz 區域內操作之 無線設備的警告聲明

工作頻率 5.250 ~ 5.350GHz 該頻段限於室內使用。

# Japan RF Equipment Statement

### 屋外での使用について

本製品は、5GHz帯域での通信に対応しています。電波法の定めにより5.2GHz、5.3GHz帯域の電波は屋外で使用が禁じられています。

### 法律および規制遵守

本製品は電波法及びこれに基づく命令の定めるところに従い使用してください。日本国外では、 その国の法律または規制により、本製品の使用ができないことがあります。このような国では、本 製品を運用した結果、罰せられることがありますが、当社は一切責任を負いかねますのでご了承 ください。

# Précautions d'emploi de l'appareil :

- Soyez particulièrement vigilant quant à votre sécurité lors de l'utilisation de cet appareil dans certains lieux (les avions, les aéroports, les hôpitaux, les stations-service et les garages professionnels).
- b. Évitez d'utiliser cet appareil à proximité de dispositifs médicaux implantés. Si vous portez un implant électronique (stimulateurs cardiaques, pompes à insuline, neurostimulateurs...), veuillez impérativement respecter une distance minimale de 15 centimètres entre cet appareil et l'implant pour réduire les risques d'interférence.
- c. Utilisez cet appareil dans de bonnes conditions de réception pour minimiser le niveau de rayonnement. Ce n'est pas toujours le cas dans certaines zones ou situations, notamment dans les parkings souterrains, dans les ascenseurs, en train ou en voiture ou tout simplement dans un secteur mal couvert par le réseau.
- d. Tenez cet appareil à distance du ventre des femmes enceintes et du bas-ventre des adolescents.

# Google<sup>™</sup> License Terms

### Copyright© 2017 Google Inc. All Rights Reserved.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at:

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

#### Simplified EU Declaration of Conformity

ASUSTek Computer Inc. hereby declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU. Full text of EU declaration of conformity is available at https://www.asus.com/support/

The WiFi operating in the band 5150-5350MHz shall be restricted to indoor use for countries listed in the table below:

#### Déclaration simplifiée de conformité de l'UE

ASUSTek Computer Inc. déclare par la présente que cet appareil est conforme aux critères essentiels et autres clauses pertinentes de la directive 2014/33/ EU. La déclaration de conformité de l'UE peut être téléchargée à partir du site internet suivant : <u>https://www.asus.com/support/</u>

Dans la plage de fréquence 5150-5350 MHz, le Wi-Fi est restreint à une utilisation en intérieur dans les pays listés dans le tableau ci-dessous:

#### Vereinfachte EU-Konformitätserklärung

ASUSTek COMPUTER INC erklärt hiermit, dass dieses Gerät mit den grundlegenden Anforderungen und anderen relevanten Bestimmungen der Richtline 2014/35/EU übersintimmt. Der gesamte Text der EU-Konformitätserklärung ist verfügbar unter: <u>https://www.asus.com/support/</u>

Der WLAN-Betrieb im Band von 5150-5350 MHz ist für die in der unteren Tabelle aufgeführten Länder auf den Innenbereich beschränkt:

#### Dichiarazione di conformità UE semplificata

ASUSTek Computer Inc. con la presente dichiara che questo dispositivo è conforme ai requisiti essenziali e alle altre disposizioni pertinenti con la direttiva 2014/53/EU. Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile all'Indirizzo: <u>https://www.asus.com/support/</u>

L'utilizzo della rete Wi-Fi con frequenza compresa nell'intervallo 5150-5350MHz deve essere limitato all'interno degli edifici per i paesi presenti nella seguente tabella:

#### Упрощенное заявление о соответствии европейской директиве

ASUSTek Computer Inc. заявляет, что устройство соответствует основным требованиям и другим соответствующим условиям директивы 2014/53/EU. Полный текст декларации соответствия EC доступен на https://www.asus.com/support/

Работа WiFi в диапазоне частот 5150-5350 должна быть ограничена использованием в помещениях для стран, перечисленных в таблице ниже:

إعلان التوافق المبسط الصادر عن الاتحاد الأوروبي

نقر شركة ASUSTek Computer أن هذا الجهاز يتوافق مع المتطلبات الأساسية والأحكام الأخرى ذلت الصلة الخاصة بتوجبه 2014/53/EU. يتوفر النص الكامل لإعلان التوافق الصلار عن الاتحاد الأوروبي على:

#### https://www.asus.com/support/

يجب حصر استخدام WiFi العاملة بـ 5150-5350 ميجا هرتز على الاستخدام المنزلي للبلدان. المدرجة بالجدول.

#### Опростена декларация за съответствие на ЕС

С настоящото ASUSTek Computer Inc. декларира, че това устройство е в съответствие Със съществените изисквания и другите приложими постановления на свързаната директива 2014/35/ЕС. Пълният текст на EC декларация за съвместимост е достъпен на адрес https://www.asus.com/support/

WiFi, работеща в диапазон 5150-5350MHz, трябва да се ограничи до употреба на закрито за страните, посочени в таблицата по-долу:

#### Declaração de Conformidade UE Simplificada

ASUSTek Computer Inc. declara que este dispositivo está em conformidade com os requisitos essenciais e outras disposições relevantes relacionadas às diretivas 2014/53/UE. O texto completo da declaração de conformidade CE está disponível em <u>https://www.asus.com/support/</u>

O WiFi operando na banda 5150-5350MHz deve ser restrito para uso interno para os países listados na tabela abaixo:

#### Pojednostavljena EU Izjava o sukladnosti

ASUSTeK Computer Inc. ovim izjavljuje da je ovaj uređaj sukladan s bitnim zahtjevima i ostalim odgovanjućim odredbama direktive 2014/33/EU. Cijeli tekt EU izjave o sukladnosti dostupan je na <u>https://www.asus.com/support/</u> WiFi koji radi na opsegu frekvencija 5150-5350 MHz bit će ograničen na upotrebu u zakvorenom prostoru u zemljama na donjem popisu:

#### Zjednodušené prohlášení o shodě EU

Společnost ASUSTek Computer Inc. tímto prohlašuje, že toto zařízení splňuje základní požadavky a další příslušná ustanovení směrnice 2014/53/ EU. Plné znění prohlášení o shodě EU je k dispozici na adrese https://www.asus.com/support/

#### https://www.asus.com/support

5-6

V zemích uvedených v tabulce je provoz sítě Wi-Fi ve frekvenčním rozsahu 5 150 - 5 350 MHz povolen pouze ve vnitřních prostorech:

#### Forenklet EU-overensstemmelseserklæring

ASUSTeK Computer Inc. erklærer hermed at denne enhed er i overensstemmelse med hovedkravene og øvrige relevante bestemmelser i direktivet 2014/53/EU. Hele EU-overensstemmelseserklæringen kan findes på https://www.asus.com/support/

Wi-Fi, der bruger 5150-5350 MHz skal begrænses til indendørs brug i lande, der er anført i tabellen:

#### Vereenvoudigd EU-conformiteitsverklaring

ASUSTEK Computer Inc. verklaart hierbij dat dit apparaat voldoet aan de essentiële vereisten en andere relevante bepalingen van Richtlijn 2014/53/ EU. De volledige tekst van de EU-conformiteitsverklaring is beschikbaar op https://www.asus.com/support/

De WiFi op 5150-5350MHz zal beperkt zijn tot binnengebruik voor in de tabel vermelde landen:

#### Lihtsustatud EÜ vastavusdeklaratsioon

Käesolevaga kinnitab ASUSTek Computer Inc, et seade vastab direktiivi 2014/53/EÜ olulistele nõuetele ja teistele asjakohastele sätetele. EL vastavusdeklaratsiooni täistekst on saadaval veebisaidil https://www.sus.com/supoort/

Sagedusvahemikus 5150-5350 MHz töötava WiFi kasutamine on järgmistes riikides lubatud ainult siseruumides:

#### Eurooppa - EY:n vaatimustenmukaisuusvakuutus

ASUSTek Computer Inc. ilmoittaa täten, että tämä laite on direktiivin 2014/53/ EU olennaisten vaatimusten ja muiden asiaankuuluvien lisäysten mukainen. Koko EY:n vaatimustenmukaisuusvakuutuksen teksti on luettavissa osoitteessa <u>https://www.asus.com/support/</u>

5 150 - 5 350 MHz:in taajuudella toimiva WiFi on rajoitettu sisäkäyttöön taulukossa luetelluissa maissa:

تبعیت از نسخه ساده شده بیانیه اتحادیه اروپا

ASUSTek Computer Inc در اینجا اعلام می کند که این نستگاه با نیاز های اساسی و سایر مقر رات مربوط به بیتیه 2014/53/Lll اروپا در این آدرس موجود است: <u>https://www.asus.com/support/</u>

\_\_\_\_\_ عملکرد 5150-5150 مگاهرتز برای WiFi باید برای استفاده در فضای داخل ساختمان برای

کشور های فهرست شده در جدول، محدود شود.

#### Απλοποιημένη Δήλωση Συμμόρφωσης ΕΕ

Διά του παρόντος η ASUSTek Computer Inc. δηλώνει ότι αυτή η συσκευή είναι σύμμορφη με τις βασικές προϋποθέσεις και άλλες σχετικές διατάξεις της Οδηγίας 2014/32/82E. Το πλήρες κείμενο τις δήλωσης συμμόρωφοις της ΕΕ είναι διαθέσιμο στη διεύθυνση <u>https://www.asus.com/support/</u>

Το WiFi που λειτουργεί στη ζώνη 5150-5350MHz περιορίζεται για χρήση σε εσωτερικούς χώρους για τις χώρες που αναφέρονται στον παρακάτω πίνακα:

הצהרת תאימות רגולטורית מקוצרת עבור האיחוד אירופי ASUSTek Computer Inc. מצהירה בזאת כי מכשיר זה תואם לדרישות

יש להגביל רשתות Wi-Fi הפועלות ברצועת התדרים 5150-5350MHz לשימוש בתור מבנים סגורים בארצות המפורטות ברשימה הבאה:

### Egyszerűsített EU megfelelőségi nyilatkozat

Az ASUSTek Computer Inc, ezennel kijelenti, hogy ez az eszköz megfelel az 2014/32/EU sz. irányelv alapvető követelményeinek és egyéb vonatkozó rendelkezéseinek. Az EU megfelelőség in yilatkozat teljes szövegét a következő weboldalon tekintheti meg: <u>https://www.asus.com/support/</u> A 5150-530 Mibz-es súvhan mikódő Wi-F1-hel/rih asználárta kell

korlátozni az alábbi táblázatban felsorolt országokban: Pernyataan Kesesuaian UE yang Disederhanakan

#### Pernyataan Kesesuaian UE yang Disederhanakan

ASUSTeK Computer Inc. dengan ini menyatakan bahwa perangkat ini memenuhi persyaratan utama dan ketentuan relevan lainnya yang terdapat pada Petunjuk 2014/53/EU. Teks lengkap pernyataan kesesuaian EU tersedia di:https://www.asus.com/support/

WiFi yang Beroperasi pada 5150-5350 MHz akan terbatas untuk penggunaan dalam ruangan di negara yang tercantum dalam tabel

#### Vienkāršota ES atbilstības paziņojums

ASUSTeK Computer Inc. ar šo paziņo, ka šī ierīce atbilst Direktīvas 2014/53/ES būtiskajām prasībām un citiem citiem saistošajiem nosacījumiem. Pilns ES atbilstības paziņojuma teksts pieejams šeit:

https://www.asus.com/support/

Wi-Fi darbība 5150–5350 MHz ir jāierobežo lietošanai telpās valstīs, kuras norādītas tālāk.

#### Supaprastinta ES atitikties deklaracija

Šiame dokumente bendrové "ASUSTek Computer Inc." pareiškia, kad šis prietaisas atitinka pagrindinius reikalavimus ir kitas susijusias Direktyvos 2014/53/ES nuostatas. Visas ES atitikties deklaracijos tekstas pateikiamas čia: https://www.asus.com/support/

Toliau nurodytose šalyse "WiFi" ryšiu, veikiančiu 5 150-5 350 MHz dažnio juostoje, galima naudotis tik patalpose:

Ovaj uređaj može da se koristi u državama navedenim ispod:

#### Forenklet EU-samsvarserklæring

ASUSTek Computer Inc. erklærer herved at denne enheten er i samsvar med hovedsaklige krav og andre relevante forskrifter i direktivet 2014/53/EU. Fullstendig tekst for EU-samsvarserklæringen finnes på:

https://www.asus.com/support/

Wi-Fi-området 5150-5350 MHz skal begrenses til innendørs bruk for landene som er oppført i tabellen:

#### Uproszczona deklaracja zgodności UE

Firma ASUSTek Computer Inc. niniejszym oświadcza, że urządzenie to jest zgodne z zasadniczymi wymogami i innymi właściwymi postanowieniami dyrektywy 2014/53/EU. Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod adresem https://www.asus.com/support/

W krajach wymienionych w tabeli działanie sieci Wi-Fi w paśmie 5150-5350 MHz powinno być ograniczone wyłącznie do pomieszczeń:

#### Declaração de Conformidade Simplificada da UE

A ASUSTek Computer Inc. declara que este dispositivo está em conformidade com os requisitos essenciais e outras disposições relevantes da Diretiva 2014/53/UE. O texto integral da declaração de conformidade da UE está disponível em https://www.asus.com/support/

A utilização das freguências WiFi de 5150 a 5350MHz está restrita a ambientes interiores nos países apresentados na tabela

#### Declarație de conformitate UE, versiune simplificată

Prin prezenta, ASUSTek Computer Inc. declară că acest dispozițiv este în conformitate cu reglementările esentiale și cu celelalte prevederi relevante ale Directivei 2014/53/UE. Textul complet al declaratiei de conformitate UE este disponibil la adresa https://www.asus.com/support/

Pentru tările listate în tabelul de mai jos, retelele WiFi care funcționează în banda de frecventă de 5.150-5.350 MHz trebuie utilizate doar în interior:

#### Pojednostavljena Deklaracija o usaglašenosti EU

ASUSTek Computer Inc. ovim izjavljuje da je ovaj uređaj usaglašen sa osnovnim zahtevima i drugim relevantnim odredbama Direktive 2014/53/EU. Ceo tekst Deklaracije o usaglašenosti EU dostupan je na lokaciji https://www.asus.com/support/

WiFi koji radi u frekventnom opsegu od 5150 MHz do 5350 MHz ograničen ie iskliučivo na upotrebu u zatvorenom prostoru za zemlie navedene u taheli isnod-

#### Ziednodušené vyhlásenie o zhode platné pre EÚ

Spoločnosť ASUSTek Computer Inc. týmto vyhlasuje, že toto zariadenie je v súlade so základnými požiadavkami a ďalšími príslušnými ustanoveniami smernice č. 2014/53/EÚ. Plné znenie vyhlásenia o zhode pre EÚ je k dispozícii na lokalite https://www.asus.com/support

Činnosť WiFi v pásme 5150 - 5350 MHz bude obmedzená na použitie vo vnútornom prostredí pre krajiny uvedené v tabuľke nižšie:

#### Poenostavljena izjava EU o skladnosti

ASUSTek Computer Inc. tukai iziavlia, da ie ta naprava skladna s temelinimi zahtevami in drugimi relevantnimii določili Direktive 2014/53/EU. Polno besedilo izjave EU o skladnosti je na voljo na https://www.asus.com/support/ WiFi, ki deluje v pasovnem območju 5150-5350 MHz, mora biti v državah,

navedenih v spodnjem seznamu, omejen na notranjo uporabo:

#### Declaración de conformidad simplificada para la UE

Por la presente, ASUSTek Computer Inc. declara que este dispositivo cumple los requisitos básicos y otras disposiciones pertinentes de la directiva 2014/53/EU. En https://www.asus.com/support/ está disponible el texto completo de la declaración de conformidad para la UE.

La conexión WiFi con una frecuencia de funcionamiento de 5150-5350 MHz se restringirá al uso en interiores para los países enumerados en la tabla:

#### Förenklad EU-försäkran om överensstämmelse

ASUSTek Computer Inc. deklarerar härmed att denna enhet överensstämmer med de grundläggande kraven och andra relevanta bestämmelser i direktiv 2014/53/EU. Fullständig text av EU-försäkran om överensstämmelse finns på https://www.asus.com/support/

WiFi som använder 5150-5350 MHz kommer att begränsas för användning inomhus i de länder som anges i tabellen

#### ประกาศเกียวกับความสอดคล้องของสหภาพยุโรปแบบย่อ ASUSTek Computer Inc.

ขอประกาศในที่นี่ว่าอุปกรณ์นี่มีความสอดคล้องกับความ ด้องการที่จำเป็นและเงือนไขที่เกี่ยวข้องอื่น ๆ ของบทบัญญัติข้อกำหนด 2014/53/EU เนื้อหาที่สมบูรณ์ของประกาศความสอดคล้องกับ EU มีอยู่ที https://www.asus.com/support/

การทำงานของ WiFi ที่ 5150-5350MHz ถกจำกัดให้ใช้ในอาคารสำหรับประเทศทีแสดงในตาราง

#### Basitleştirilmiş AB Uyumluluk Bildirimi

ASUSTek Computer Inc., bu avaitin 2014/53/EU Yönergesinin temel gereksinimlerine ve diğer ilgili hükümlerine uygun olduğunu bildirir. AB uygunluk bildiriminin tam metni şu adreste bulunabilir: https://www.asus.com/support/

5150-5350 MHz arasındaki WiFi çalışması, tabloda listelenen ülkeler için iç mekân kullanımıyla kısıtlanacaktır.

#### Спрощена декларація про відповідність нормам ЄС

ASUSTek Computer Inc. заявляє, що цей пристрій відповідає основним вимогам та іншим відповідним вимогам Директиви 2014 / 53 / EU. Повний текст декларації відповідності нормам ЄС доступний на https://www.asus.com/support/

Робота Wi-Fi на частоті 5150-5350 МГц обмежується використанням у приміщенні для країн, поданих у таблиці нижче:

日本語本製品は、FU指令の基本要件およびその他の関連規定に適合し ています。本製品に関連する適合宣言書は、www.asus.com/support て で確認ください。



AT	BE	BG	CZ	DK	EE	FR
DE	IS	IE	IT	EL	ES	CY
LV	LI	LT	LU	HU	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SI	SK	TR
FI	SE	СН	UK	HR		

#### 

Function	Frequency	Maximum Output Power (EIRP)
	2412-2472 MHz	19 dBm
WiFi	5150-5350 MHz	19 dBm
	5470-5725 MHz	19 dBm
Bluetooth	2402-2480 MHz	8 dBm

# ASUSコンタクトインフォメーション

# ASUSTeK COMPUTER INC.

住所: 電話(代表): ファックス(代表): 電子メール(代表): Webサイト: 4F, No. 150, Li-Te Rd., Peitou, Taipei 112, Taiwan +886-2-2894-3447 +886-2-2890-7798 info@asus.com.tw www.asus.com/

### テクニカルサポート

電話: +86-21-3842-9911 ファックス: +86-21-5866-8722, ext. 9101# オンラインサポート: <u>https://www.asus.com/support/</u>

# お問い合わせ

本製品の日本におけるサポートは販売代理店が提供しております。製品ご購入後のお問い合わせについては、製品の外箱に貼付された「製品保証シール」をご確認の上、販売代理店のお問い合わせ気ださい。

お電話でテクニカルサポートにお問い合わせをいただく際、ご不明な点や問題を迅速に解決する ため【製品名】【シリアル番号】のご用意をお願いいたします。

ASUSが提供するサービスについてのお問い合わせは、ASUSオフィシャルページのサポートページからお問い合わせください。 http://www.asus.com/jp/support/

## **DECLARATION OF CONFORMITY**

Per FCC Part 2 Section 2. 1077(a)



**Responsible Party Name:** Asus Computer International

Address: 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539.

Phone/Fax No: (510)739-3777/(510)608-4555

hereby declares that the product

Product Name : Motherboard

### Model Number : ROG STRIX Z370-I GAMING

Conforms to the following specifications:

Section FCC Part 15, Subpart B, Unintentional Radiators

### **Supplementary Information:**

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Representative Person's Name : Steve Chang / President

Steve Chang

Signature :

Date : Sep. 4, 2017

Ver. 170324

h		P	۲	٦.
٦	5	4	đ	
Þ	1		5	-1
l			ï	F
ß	3		ŋ	М
Þ	۰,	đ		